

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社（以下「ディップ」といいます。）が提供する「スペースリーVR」(以下「本サービス」といいます。)その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。なお、本利用規約記載の以下の条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。また、ディップは株式会社スペースリー（以下「スペースリー」といいます。）と本サービスのOEM 契約を締結しており、スペースリーが規定する本サービスに関する利用規約（<https://spacely.co.jp/terms>）およびプライバシーポリシー（<https://spacely.co.jp/privacypolicy>）に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第1条（目的）

1.本利用規約は、ディップが提供する本サービスを通じて顧客ニーズに対応し、商談機会の創出など営業担当者様の支援をすることを目的（以下「本目的」といいます。）とします。

第2条（用語の定義）

- 1.「本サービス」とは、クライアントが VR コンテンツを作成、編集、保管および VR コンテンツを活用するための顧客管理、コミュニケーション、マーケティングオートメーションおよび関連する機能を利用することをいいます。
- 2.「クライアント」とは、本利用規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承諾した法人、個人およびその他の団体をいいます。
- 3.「ユーザーコンテンツ」とは、本サービス上で、クライアントにより作成、保存されたコンテンツをいいます。ユーザーコンテンツには「公開」「限定公開」「非公開」の設定があります。「公開」は一般に公開される状態、「限定公開」はコンテンツの URL を知っている者のみが閲覧できる状態、「非公開」は契約者およびユーザーのみが本サービス利用のための ID・パスワードを入力して閲覧できる状態をいいます。なお、「限定公開」のコンテンツは、閲覧するための個別のパスワード設定が可能となっております。また、公開の設定に関わらず、ユーザーコンテンツをインターネット上で検索可能にするかしないかのステータスの設定が可能となっております。
- 4.「ユーザーデータ」とは、クライアントが本サービス上に保管する画像、テキスト、音声、動画その他の情報をいいます。

第3条（申込み・契約の成立）

- 1.クライアントは、本利用規約に同意した上で、ディップが指定する手続きに従って申込み、本サービスを利用することができる従業員その他の者（以下、「利用ユーザ」といいます。）を登録又は削除することができます。クライアントは、利用ユーザの行為につきディップに対し連帯して責任を負うものとし、利用ユーザによる本利用規約その他の契約又は法令違反についてはクライアントによる違反とみなされます。
- 2.ディップがクライアントによる申し込みに対し、確認および審査の上、申込みを承諾することにより、ディップおよびクライアントとの間で本サービスの利用契約が成立します。
- 3.ディップは、本サービスの利用開始にIDおよびパスワードが必要となる場合には、クライアントに対しIDを発行します。その後、クライアントは、自らパスワードを設定するものとします。

第4条（IDおよびパスワードの管理）

- 1.クライアントは自己のIDおよびパスワードの管理・使用は、ディップの責に帰する事由による場合を除き、全てクライアントが責任を負うものとします。
- 2.クライアントはIDおよびパスワードを第三者に譲渡、売買、貸与等の行為はできないものとします。
- 3.クライアントはIDおよびパスワードを失念した場合、または盗難されたおそれのある場合には速やかにディップにその旨を連絡する義務を負います。
- 4.IDまたはパスワードの第三者の使用により当該クライアントが損害を被った場合、ディップの責に帰する事由による場合を除き、ディップは一切責任を負いません。

第5条（利用期間）

- 1.本サービスの利用期間は、申込内容記載の本サービス利用開始日が当月1日からの場合は、当月1日から6ヶ月間とします。本サービス利用開始日が当月2日以降の場合は、当該本サービス利用開始日が属する月の末日までおよび翌月1日からの6ヶ月間とします。
- 2.前項の利用期間は、利用期間満了日の前月20日（該当日が営業日外の場合は、直近の前営業日）までに、ディップ所定の退会届のご提出がない場合、自動的に6ヶ月間更新されるものとし、以降同様に自動更新するものとします。
- 3.前二項にかかわらず、本サービスのうちディップがあらかじめ指定したサービスについては、申込に記載された期間によって当該サービスの提供を受けるものとします。

第6条（利用料金）

- 1.クライアントは本サービスの利用にあたって、ディップの定める料金（以下「利用料金」といいます。）を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。
- 2.クライアントは本サービスの利用にあたり不都合が生じたとしてもディップに対し利用料金の減額、返金申し入れすることはできないものとします。ただし、当該不都合がクライアントの指示にもかかわらず、またディップが本利用規約に規定する各免責条項に該当しない場合に当該不都合が生じた場合には、双方協議により利用料金の一部を減額する場合があります。
- 3.ディップは、クライアントに対して事前に通知を行うことで、合理的な範囲における利用料金の改定又は部分的変更を行うことができるものとし、クライアントは、利用料金の改定又は変更後の利用料金をディップの指定する方法により支払うものとします。
- 4.クライアントが支払期日までに利用料金を支払わなかった場合、ディップはクライアントに対し、支払期日の翌日から支払済みまで、支払期日までに支払わなかった利用料金およびその利用料金に係る年 14.6 パーセントの割合の遅延損害金を請求することができます。ただし、100 円未満の端数が生じた場合はこれを切り捨てます。

第7条（クライアントの責務）

- 1.クライアントはディップの求めに応じて、本サービスの適切な運

営、提供に必要な範囲においてクライアント自らの属性等、クライアントに関する情報をディップに提供しなければならないものとしま

- 2.クライアントはディップへの届出内容に変更があった場合には、速やかにディップに連絡する義務を負います。届出がなかったことでクライアントが不利益を被ったとしても、ディップは一切その責任を負いません。
- 3.クライアントは、自己の責任と負担において本サービスを利用するために必要なカメラ等機材、コンピューター、携帯電話その他の機器、OS、アプリケーションの動作環境・通信環境を整えるものとし、また、本サービスは、カメラ、インターネット、電子メールその他の利用者のコンピューター、携帯電話その他の機器、OS、アプリケーションの各種設定（セキュリティ設定を含みます。）が適切になされていることを前提にしており、不適切なコンピューター、携帯電話その他の機器、OS、アプリケーションの動作環境・通信環境により本サービスが正しく提供できない場合でも、ディップは一切責任を負いません。
- 4.クライアントは、自らに登録した情報、その内容について一切の責任を負うものとしま
- 5.前項の登録情報は、本サービスの提供するサービス内容の範囲内で、クライアント自らがいつでも変更、追加、削除できるものとし、常にクライアントが責任をもって利用目的に沿い、正確、完全、最新に保つものとします
- 6.クライアントおよびディップは、本サービス利用にあたりクライアントが本サービス内に保存したユーザーデータ、ユーザーコンテンツの知的財産権および所有権はクライアントに帰属するものとしま
- 7.クライアントは、クライアントによる本利用規約の履行が第三者のいかなる権利も侵害しないということを保証します。
- 8.本サービスの使用に伴い、第三者からクライアントに対して著作権その他の知的財産権の侵害を理由とした申し立てがなされた場合でも、原則としてディップは責任を負わないものとし、クライアント又は第三者に発生した損害に対しては、当事者において負担するものとします。
- 9.クライアントは、原則として、ユーザーコンテンツを第三者のために、有償無償を問わず制作、譲渡、若しくは閲覧以外の機能を利用させることはできません。
- 10.ユーザーデータおよびユーザーコンテンツ以外のすべてのコンテンツ（データ、本サービスの商標、ロゴ等を含みますが、この限りではありません。）の無形財産はディップ又はスペースリーが知的財産権その他一切の権利（所有権を含みますが、これに限られません。）を有しているものであり、クライアントが利用することはできません。

第8条（連絡体制）

- 1.クライアントおよびディップは、それぞれ本利用規約の履行に関する連絡、確認を行う主任担当者を予め定め、相手方に通知することとし、本サービスにかかると連絡、確認等は、原則として当該主任担当者を通じて行うものとしま
- 2.クライアントおよびディップは、本サービスに支障が生じる恐れがある事故の発生を知ったときは、遅延なくその旨を相手方に報告するものとします。

第9条（本サービスの変更、中断）

- ディップは次のいずれかに該当すると判断した場合は、クライアントへの事前の通知をすることなく、本サービスの提供を変更、中断することができるものとします。
- (1)天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、本サービスの提供ができなくなった場合
 - (2)その他運用上、ディップが必要と判断した場合

第10条（本サービスの終了）

- 1.ディップは、30日間の予告期間をもってクライアントに通知のうえ、本サービスの提供を終了することができます。
- 2.前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップはクライアントに対して何らの責任も負いません。

第11条（保証）

- 1.ディップは、クライアントに対し、本サービスの提供に関し、明示または黙示の無にかかわらず、特定の目的への適合性、有用性（有益性）、セキュリティについて一切保証しておりません。
- 2.ディップは、本サービスが全ての端末に対応していることを保証するものではなく、また、仮に本サービスの利用開始時に対応していた場合でも、本サービスの利用に供する端末の OS のバージョンアップ等に伴い本サービスの動作に不具合が生じる可能性があることにつき、クライアントはあらかじめ了承するものとします。
- 3.ディップは、前項にかかる不具合が生じた場合にディップが行うプログラムの修正等により当該不具合が解消されることを保証するものではありません。

第12条（禁止事項）

- クライアントは、本サービスの利用にあたり以下の行為を行ってはならないものとします。
- (1)本サービスの目的外の利用行為
 - (2)本サービスの内容を改ざんする行為
 - (3)ディップが定める本サービスの利用・運用ルールに反する行為
 - (4)本サービスの運営の妨けとなる一切の行為
 - (5)付与されたID等を第三者に譲渡又は貸与すること
 - (6)契約者のID等を不正に使用すること
 - (7)公序良俗に反する行為もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - (8)法令に反する行為や犯罪的行為、もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - (9)反社会的勢力等に該当する行為
 - (10)事実上反する、またはそのおそれのある情報を提供する行為
 - (11)その他、ディップが不適切と判断する一切の行為

第13条（利用停止）

ディップは、クライアントが本利用規約に違反したと判断した場合、何らの催告をせず、当該クライアントによる本サービスの利用を停止することができます。

第14条（情報の削除）

- 1.ディップは、第12条に規定された行為とみなされる情報が登録される等、登録情報を削除する必要がある場合、クライアントに通知

することなく、当該情報を削除することができます。

- 2.ディップは、契約期間中および契約が終了した場合でも、本サービスのシステムに蓄積されたプログラム、データおよび統計情報等本サービスの利用に関する全てのデータはクライアントにお渡ししません。

第15条（商号等の使用）

- 1.クライアントはディップに対し、本件目的を遂行する際にクライアントの名称、商標またはロゴ等を使用することを認めます。
- 2.クライアントはディップに対し、ディップが運営する WEB サイト上で本サービスのご利用企業として第三者にクライアントの名称、商標またはロゴを使用および開示することを認めます。
- 3.クライアントは、第17条第4項に定める機密情報ではないユーザーコンテンツに関し、ディップおよびスペースリーが日本の国内外で期限の定めなく無償かつ非独占的に、本サービスの改善のための研究開発やプロモーション目的に利用（複製、上映、展示、頒布、変更を加えての利用を含みます。）する権利を許諾します。但し、ユーザーコンテンツをクライアントが公開設定において機密情報となる設定若しくは削除した場合は、当該許諾は商業的に合理的な期間内に終了します。なお、クライアントはディップおよびスペースリーに対し、著作者人格権を行使しないものとします。

第16条（再委託）

- 1.クライアントは、ディップが受託した業務のうち本件サービス運用サポートについて第三者に再委託する場合があることについて承諾するものとします。
- 2.前項の場合、ディップは再委託先に本利用規約を遵守させるとともに、当該再委託先の行為に関し再委託先と連帯してまたは単独で責任を負うものとしま

第17条（機密保持）

- 1.本利用規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方に開示または提供し、かつ開示または提供の際に秘密である旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報（文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない）をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することはできないものとします。
- 2.前項の相手方の営業上、技術上の情報であっても、次の各号のいずれかに該当するものは前項に基づく取扱いを要しないものとします。

- (1) 知知の情報または相手方から開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報
- (2) 相手方から開示を受けた時点で、既に自己が保有していた情報
- (3) 相手方の技術上、営業上の情報に関係なく自己が独自に開発した情報
- (4) 第三者から秘密保持義務を負うことなく、適法に入手した情報
- 3.クライアントおよびディップは、本利用規約が期間満了、解約その他の事由により終了したときまたは相手方が要求があったときは、相手方から交付された秘密情報を含む資料、フロッピーディスク等の媒体（写を作成した場合は写を含みます。）を相手方の選択により廃棄または返却するものとします。
- 4.ディップは、ユーザーコンテンツおよびユーザーデータを機密情報として取り扱います。但し、「公開」コンテンツおよび「限定公開」のコンテンツのうちパスワード設定がなされていないコンテンツに関するユーザーデータは機密情報には該当しないものとします。
5. 本条の規定は、契約終了後も有効に存続します。

第18条（個人情報の取扱い）

- 1.本サービスの利用に伴い、クライアントおよび本サービスの利用者の個人情報(生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます。))をいい、クライアントが本サービスのシステムに登録した情報を含みます。以下同様とします。また、スペースリーが取得します。
- 2.クライアントは、本サービスの利用に伴い、スペースリーの利用規約（<https://spacely.co.jp/terms>）およびプライバシーポリシー（<https://spacely.co.jp/privacypolicy>）の内容をご確認の上、同意したものとします。
- 3.ディップは、クライアントによる本サービスの申込み、当該申込み後の初期設定対応等の本件サービス運用サポートにより取得する個人情報や、本利用規約に記載する【個人情報の取扱いについて】に従い適切に取り扱うものとします。
- 4.クライアントおよびディップは、個人情報の適正な安全管理を講じるものとし、社内に個人情報保護責任者を任命し、個人情報保護体制を整備し、社員に対する安全対策を実施する義務があります。
- 5.クライアントおよびディップは、本サービスの利用に伴い個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩が発生した場合、共同して誠実に対応するものとします。また、速やかに対応するために、クライアントは、ディップがクライアントの事前承諾を得ることなく本人に直接連絡することについて、予め承諾するものとします。
- 6.ディップは、本サービスの利用または再委託先の管理下で発生した個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩について、ディップに明らかな帰責事由がある場合に限り、責任を負うものとしま

第19条（反社会的勢力に関する表明保証）

クライアントおよびディップは、相手方に対し、自己が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）ではないこと、反社会的勢力の支配・関与・影響を受けていないこと、および、クライアントおよびディップが知る限り各々の自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを保証します。

第20条（解除）

- 1.クライアントが以下のいずれかの項目に該当する場合ディップは何等の催告することなく、本利用規約を解除することができるものとします。
- (1)監督官庁による営業の取消もしくは停止等の処分その他関連法規に基づく行政上の処分を受けたとき

- (2)破産、会社更生手続開始、特別清算開始、民事再生手続開始の申立てまたはその他財務状況の悪化またはそのおそれがあると認められる相当な事由があったとき
- (3)その資産の一部または全部に対して差押え、仮差押え、仮処分または競売の申立てを受けたとき
- (4)公租公課を滞納したとき
- (5)利用料金等その他の支払を怠っている場合または過去に支払いを怠ったことがある場合
- (6)自己振出の手形または小切手が不渡り処分となり支払停止事由が発生したとき
- (7)名誉、信用を失墜させたとき、またはそのおそれがあるとき
- (8)第19条その他本利用規約に違反したとき
- (9)その他合理的な根拠によりディップがクライアントによるサービスの利用継続を不適当と判断した場合
- 2.前項の理由により契約が解除された場合は、当該時点で発生しているディップに対する一切の債務の全額について期限の利益を喪失し、直ちに一括して弁済するものとします。
- 3.ディップは、第1項により本利用規約を解除した場合、相手方に損害が生じても何ら責任を負わないものとします。

第21条（本利用規約終了時の措置）

- 1.本利用契約が終了した場合、ディップは、クライアントに付与していたID等を無効にします。
- 2.クライアントは、自己の責任で必要なデータのバックアップを確保するものとし、ディップは、前項によるクライアントのデータを削除したことによるデータ消失の責任を負わないものとします。
- 3.クライアントが本サービスの利用に伴い取得した本サービスに関するマニュアルおよびそれらの複製物については、本利用契約の終了後、直ちにディップに返却するか、ディップの承認の下に破棄するものとします。

第22条（免責）

- 1.停電・通信回線の事故、天災等の不可抗力、通常講ずるべきウイルス対策では防止できないウイルス被害、通信事業者の不履行、インターネットインフラその他サーバー等のシステム上の不具合、緊急メンテナンスの発生などディップの責に帰すべき事由以外の原因により本利用規約に基づく債務の全部または一部を履行できなかった場合、ディップはその責を問われないものとし、当該履行については、当該原因の影響とみなされる範囲まで義務を免除されるものとします。
- 2.本サービスの提供中にリンク先のサイトに不具合が発生した場合や、クライアントが利用するサイトまたはバックージソフトの不具合で本サービスが提供できない場合およびクライアントによる本利用規約第12条(2)に該当する行為により本サービスが提供できない場合は、ディップは債務不履行の責を負わず、当該期間中の料金も発生するものとします。
- 3.ディップは、前二項の障害を知り得た場合は、クライアントへ事前に通知した上で、当該障害の調査および復旧対応にあたります。ただし、緊急にてやむを得ない場合は、クライアントへの通知が対応後となる場合があり、クライアントは予めそれを承諾します。また、ディップは、当該復旧対応について、当該障害の解決を保証するものではなく、また解決時間についても何ら保証するものではありません。
- 4.本サービスの提供、一時中止、変更、中断もしくは終了、本サービスを通じて登録、提供される情報の流失もしくは消失等、またはその他本サービスに関連してクライアントに損害が発生した場合、ディップに明らかな帰責事由がない限り、ディップは責任を負わないものとします。
- 5.ディップは、クライアントの本サービスの利用が原因で発生したトラブル、損害に関し、ディップの責に帰する事由を除き、一切責任を負わないものとします。
- 6.本サービスと外部サービスとの連携を有効にするには、技術的スキルが必要であるため、クライアントは、連携のエラー又は不具合により、データが喪失又は破損する可能性があることを理解および承諾したものとして利用するものとします。ディップは、連携時のエラー又は不具合によるデータの喪失および破損について一切の責任を負いません。

第23条（損害賠償）

- 1.ディップが、第22条の免責事由に該当せず、故意または重過失により、クライアントに対し損害を与えた場合は、クライアントが本サービスを無料で利用している場合を除き、当該損害発生事由にかかる申込内容のうち既にディップに支払われた金額を上限とし、その損害の賠償の義務を負うものとします。
- 2.前項の規定にかかわらず、理由の如何を問わず、本サービスを提供できなかったことによりクライアント又は第三者（他の契約者も含みます。以下同じ。）が被害を被った場合、賠償又は補償などの一切の責任を負わないものとします。
- 3.クライアントは、本利用規約に違反することによって、第三者との間でトラブルが発生した場合、クライアント自身で解決するものとし、ディップに損害を与えることのないものとします。

第24条（利用規約の変更）

ディップは、本利用規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは1か月以上の予告期間においてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。クライアントが当該変更後に本サービスを利用した場合、変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第25条（協議および管轄裁判所）

- 1.本サービスに関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。
- 2.クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第26条（準拠法）

本利用規約および本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

【個人情報の取扱いについて】

ディップ株式会社は、本サービスにおいて取得する個人情報を以下のとおり取扱いします。

- a)個人情報を取得する事業者
- ディップ株式会社

- b)個人情報保護管理者の職名、所属および連絡先
- ディップ株式会社 取締役CIO（最高情報責任者）
- <https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

c)個人情報の利用目的

取得した個人情報は、以下の目的で利用いたします。

- (1)本サービスの提供

d)第三者への提供

第三者への提供はいたしません。

e)個人情報の取扱いの委託

個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。この際は、個人情報の取扱いに関する契約を締結し、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

f)本人からの開示要求など

本人から(1)利用目的の通知、(2)開示、(3)訂正、追加または削除、(4)利用の停止、消去または第三者への提供の停止などの要求がある場合、以下のお問合せ先からお問合せください。

<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

g)任意性

本申込内容への入力内容はすべて必須項目となっております。必須項目をご入力いただかなかった場合、ディップからのサービスを提供できません。

h)容易に認識できない個人情報の取得方法

本サービスを利用いただく際に Cookie 情報を取得します。

i)統計データ

ディップ株式会社は、個人を特定できないように加工した利用状況や統計データを作成し、当該情報について何ら制約なく利用することができるものとします。なお、この場合の著作権はディップ株式会社に帰属します。

2020年10月19日制定

第 1 条（約款の構成および適用）

1. クライアントは、第 3 条のとおり構成されるディップ株式会社(以下「ディップ」といいます。)の約款が適用されることを前提として、セールス&バックオフィスバックサービス（以下「本サービス」といいます。）その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。

なお、本規約および個別規約記載の各条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

2. 利用契約には、本規約およびクライアントが利用するサービスに対応する個別規約が適用され、これらにより利用契約の内容が規律されるものとします。

3. 本規約と個別規約に重複または矛盾、抵触する規定がある場合は、本規約の規定が優先して適用されるものとします。

4. 本規約および個別規約において定義された用語は、特に規定しない限り、ディップの他の規約においても同一の意義を有するものとします。

第 2 条（利用規約の変更）

ディップは、本規約および個別規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは 1 カ月以上の予告期間をおいてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。すでに締結された利用契約にも変更後の本規約または個別規約が適用されるものとします。

第 3 条（用語の定義）

1. 「本サービス」とは、ディップが提供する業務効率化支援サービスのことをいい、企業における業務の分析・可視化、R P A やその他業務効率化ツールを用いて、営業支援からバックオフィス業務までを総合的に支援するサービスとなります。

2. 「クライアント」とは、本規約および個別規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承認した法人、個人およびその他の団体をいいます。

3. 「本規約」とは、「セールス&バックオフィスバックサービス利用規約」のことをいい、本サービスの締結手順および個別規約に優先して本サービスに適用される共通事項を規定するものです。

4. 「個別規約」とは、本サービスの個別内容ごとに適用される事項を規定するものです。

第 4 条（申込み・契約の成立）

1. クライアントは、本利用規約に同意した上で、ディップが指定する手続きに従って申し込みます。なお、サービスにより別途書面が必要な場合、ディップが指定する書面も提出するものとします。

2. ディップは、クライアントによる申込みその他必要書類を受け取った後、当該申込内容を確認し、承認します。

3. 前項によりディップが当該申込を承認した場合に、ディップとクライアントの間に契約が成立します。

4. ディップは、本サービスの利用開始に I D およびパスワードが必要となる場合には、クライアントに対し I D およびパスワードを発行し、貸与します。

第 5 条（利用期間）

1. 本サービスの利用期間は、申込内容記載の本サービス利用開始日から 6 か月とします。

2. 前項にかかわらず、本サービスのうちディップがあらかじめ指定したサービスについては、申込に記載された期間によって当該サービスの提供を受けるものとします。

第 6 条（利用料金）

クライアントは本サービスの利用にあたって、個別規約の定めに関わらず、ディップの定める料金（以下「利用料金」といいます。）を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。

第 7 条（解約）

クライアントは、個別規約の定めに関わらず、ディップに対して、解約希望日の 3 0 日前までにディップ所定の書面にて事前通知することにより、本サービスを解約することができます。ただし、その場合、違約金として利用期間満了までの利用料金をお支払いいただきます。

第 8 条（機密保持）

1. 本規約および個別規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方に開示または提供し、かつ開示または提供の際に秘密である旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報（文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない）をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することはできないものとします。

2. 前項の相手方の営業上、技術上の情報であっても、次の各号のいずれかに該当するものは前項に基づく取扱いを要しないものとします。

（1）公知の情報または相手方から開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報

（2）相手方から開示を受けた時点で、既に自己が保有していた情報

（3）相手方の技術上、営業上の情報に関係なく自己が独自に開発した情報

（4）第三者から秘密保持義務を負うことなく、適法に入手した情報

3. ディップは、本サービスのサービス向上、改善および開発のために本サービスの提供に基づき取得した機密情報等を活用することがあり、クライアントは予めそれを承諾します。

4. クライアントおよびディップは、本規約または個別規約が期間満了、解約その他の事由により終了したときまたは相手方から要求があったときは、相手方から交付された秘密情報を含む資料、フロッピーディスク等の媒体（写を作成した場合は写を含みます。）を相手方の選択により廃棄または返却するものとします。

5. 前 4 項の規定は契約終了後も有効に存続します。

第 9 条（個人情報の取扱い）

1. クライアントは、本サービスの利用に伴い、個人情報の管理をディップに委託することおよび第三者に再委託することについて、本人から同意を得る必要があります。

2. ディップは、前項の委託を受け、本サービスを通じて取得する個

人情報（生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます。）をいい、クライアントが本サービス上に格納した情報を含みます。）以下同様とします。）を、本規約に記載する【個人情報の取扱いについて】に従い適切に取り扱うものとします。

3. ディップは、前項の提供を受け、本サービスを通じて取得する個人情報、本サービスの提供の範囲内にのみ利用します。

4. クライアントおよびディップは、個人情報の適正な安全管理を講じるものとし、社内に個人情報保護責任者を任命し、個人情報保護体制を整備し、社員に対する安全対策を実施する義務があります。

5. クライアントおよびディップは、本サービスの利用に伴い個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩が発生した場合、共同して誠実に対応するものとします。また、速やかに対応するために、クライアントは、ディップがクライアントの事前承諾を得ることなく本人に直接連絡することについて、予め承諾するものとします。

6. ディップは、本サービスの利用または再委託先の管理下で発生した個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩について、ディップに明らかな帰責事由がある場合に限り、責任を負うものとします。

第 10 条（反社会的勢力に関する表明保証）

クライアントおよびディップは、相手方に対し、自己が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）ではないこと、反社会的勢力の支配・関与・影響を受けていないこと、および、クライアントおよびディップが知る限り各々の自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを保証します。

第 11 条（免責）

1. 停電・通信回線の事故、天災等の不可抗力、通常講ずるべきウイルス対策では防止できないウイルス被害、通信事業者の不履行、インターネットインフラその他サーバー等のシステム上の不具合、緊急メンテナンスの発生などディップの責に帰すべき事由以外の原因により本規約または個別規約に基づく債務の全部または一部を履行できなかった場合、ディップはその責を問われないものとし、当該履行については、当該原因の影響とみなされる範囲まで義務を免除されるものとします。

2. 本サービスの提供中にリンク先のサイトに不具合が発生した場合や、クライアントが利用するサイトまたはパッケージソフトの不具合で本サービスが提供できない場合および、ディップが定める本サービスの利用・運用ルールに反する行為をクライアントがしたことにより本サービスが提供できない場合は、ディップは債務不履行の責を負わず、当該期間中の料金も発生するものとします。

3. ディップは、前二項の障害を知り得た場合は、クライアントへ事前に通知した上で、当該障害の調査および復旧対応にあたります。ただし、緊急にてやむを得ない場合は、クライアントへの通知が対応後となる場合があり、クライアントは予めそれを承諾します。また、ディップは、当該復旧対応について、当該障害の解決を保証するものではなく、また解決時間についても何ら保証するものではありません。

4. 本サービスの提供、一時中止、変更、中断もしくは終了、本サービスを通じて登録、提供される情報の流失もしくは消失等、またはその他本サービスに関連してクライアントに損害が発生した場合、ディップに明らかな帰責事由がない限り、ディップは責任を負わないものとします。

第 12 条（損害賠償）

1. ディップが、前条の免責事由に該当せず、故意または重過失により、クライアントに対し損害を与えた場合は、クライアントが本サービスを無料で利用している場合を除き、当該損害発生事由にかかる申込内容のうち既にディップに支払われた金額を上限とし、その損害の賠償の義務を負うものとします。

2. 前項の規定にかかわらず、本サービスを無料で利用しているクライアントに対しては、ディップがクライアントに損害を与えた場合であっても、ディップは一切その責任を負いません。

3. クライアントは、本利用規約に違反することによって、第三者との間でトラブルが発生した場合、クライアント自身で解決するものとし、ディップに損害を与えることのないものとします。

第 13 条（保証）

ディップは、クライアントに対し、本サービスの提供に関し、明示または黙示の有無にかかわらず、特定の目的への適合性、有用性（有益性）、セキュリティについて一切保証しておりません。

第 14 条（協議および管轄裁判所）

1. 本規約および個別規約に関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。

2. クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 15 条（準拠法）

本規約および個別規約、本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

【個人情報の取扱いについて】

ディップ株式会社は、本サービスにおいて取得する個人情報を以下のとおり取扱いします。

a) 個人情報を取得する事業者

ディップ株式会社

b) 個人情報保護管理者の職名、所属および連絡先

ディップ株式会社 経営管理本部 総務統括部長

<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

c) 個人情報の利用目的

取得した個人情報は、以下の目的で利用いたします。

(1) 本サービスの提供

d) 第三者への提供

第三者への提供はいたしません。

e) 個人情報の取扱いの委託

個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。この際は、個人情報の取扱に関する契約を締結し、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

f) 本人からの開示要求など

本人から(1)利用目的の通知、(2)開示、(3)訂正、追加または削除、(4)利用の停止、消去または第三者への提供の停止などの要求がある場合、以下のお問合せ先からお問合せください。
<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

g) 任意性

本申込内容への入力内容はすべて必須項目となっております。必須項目をご入力いただかなかった場合、ディップからのサービスを提供できません。

h) 容易に認識できない個人情報の取得方法

本サービスを利用いただく際に Cookie 情報を取得します。

i) 統計データ

ディップ株式会社は、個人を特定できないように加工した利用状況や統計データを作成し、当該情報について何ら制約なく利用することができるものとします。なお、この場合の著作権はディップ株式会社に帰属します。

2020 年 7 月 13 日制定

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社(以下「ディップ」といいます。)が提供する「makibisi」サービス(以下「本サービス」といいます。)その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。なお、本利用規約記載の以下の条項に同意しただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第1条 (目的)

本利用規約は、ディップが提供する本サービスを通じて企業における新規アポイント取得を支援することを目的とします。

第2条 (用語の定義)

- 1.「本サービス」とは、当社がクライアントに対して提供するシステム「makibisi」を利用して、求人メディアに掲載している会社を自動的にリストアップし、クライアントの希望条件の対象となる会社の問い合わせフォームに、事前に設定した内容から最適な営業メールを自動配信するサービス、およびそれに関連するサービスの総称をいいます
- 2.「クライアント」とは、本利用規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承認した法人、個人およびその他の団体をいいます。

第3条 (申込み・契約の成立)

1. クライアントとディップが CloudSign にて電子契約した時点で本契約及び個別契約は成立するものとします。個別契約は、クライアントとディップ間で取引条件を記載した個別契約書を締結する方法、又はクライアントがディップに対して所定の申込書を送付し、ディップがこれを受諾する方法により成立します。
- 2.前項の個別契約には、本サービスの品名・仕様・数量・委託金額・契約期間・支払方法・支払条件その他本サービスを提供するために必要な事項を記載しなければなりません。ただし、個別契約に記載のない事項の他、本利用規約に定めのある条項については、本利用規約の規定が適用されます。

第4条 (本サービスの変更、中断)

- 1.利用契約の成立後、本サービスの仕様・数量・委託金額・契約期間等に変更がある場合には、その都度、クライアントとディップ間で別途協議のうえ定めます。
- 2.個別契約の変更については、書面の作成に代えて、契約変更の手続きを明示した電子メールにより変更することができます。この場合は、クライアントまたはディップの電子メールによる契約変更の申し入れと、それに対する相手方の承諾の意思表示により個別契約の変更が成立したものとみなします。
- 3.ディップは次のいずれかに該当すると判断した場合は、クライアントへの事前の通知をすることなく、本サービスの提供を変更、中断することができるものとします。
 - (1)天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがある、本サービスの提供がでなくなった場合
 - (2)緊急保守等本サービスにおけるシステムの運営上やむを得ない事由が生じた場合
 - (3)その他運用上、技術上ディップが必要と判断した場合

第5条 (業務の履行)

- 1.ディップは、善良なる管理者の注意をもって本サービスを提供するものとします。また、ディップは、自らの責に帰さない事由又は正当な事由により、本利用規約上の業務の遂行を合意された期間中に完了できないことが判明した場合、直ちにクライアントにその事由を付して通知し、クライアントの指示に従わなければならないとします。

第6条 (利用料金)

- 1.クライアントは本サービスの利用にあたって、ディップの定める料金(以下「利用料金」といいます。)を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。
- 2.個別契約に特段の記載がない場合は、クライアントは、ディップに対し、本サービスの代金を(前受金がある場合はその残金)毎月末日締め翌月末日限り、ディップが指定する銀行口座に振り込み送金する方法により支払います。(当該月末の日が振込日の銀行の営業日ではないときには、その直後の営業日とします。)ただし、ディップが月末締め後、翌月5営業日以内にクライアントに対し請求書を送付した場合に限るものとします。なお、送金手数料はクライアントの負担とします。

第7条 (商号等の使用)

- 1.クライアントはディップに対し、本件目的を遂行する際にクライアントの名称、商標またはロゴ等を使用することを認めます。
- 2.クライアントはディップに対し、ディップが運営するWEBサイトや外部メディアに対し、実績として本サービスのご利用企業として第三者にクライアントの名称、商標またはロゴを使用および開示することを認めます。クライアントの要求がある場合は、ディップは、クライアントに対し、公表前に、公表する媒体、公表方法、その他甲が要求する事項を事前に通知するものとします。

第8条 (資料等の取扱)

ディップは、本サービス提供に必要であるとしてクライアントから提供された資料、情報、機器等を善良なる管理者の注意義務をもって取り扱うものとし、本サービス提供以外の用途に使用してはならず、本サービス提供に必要な範囲を超えて複製または改変してはならないこと。また、複製や改変を行った資料等についても同等の取り扱いを行うこと。また、クライアントが求めた場合または本契約が終了した場合には、クライアントの指示に従い、返還、廃棄、消去等の措置を講じます。

第9条 (再委託)

- 1.クライアントは、ディップが受託した業務を第三者に再委託する場合がありますことについて承諾するものとします。
- 2.前項の場合、ディップは再委託先に対し本利用規約を遵守させるとともに、当該再委託先の行為に関し再委託先と連帯してまたは単独で責任を負うものとし、ディップに帰責事由がない場合は除きます。

第10条 (機密保持)

1本利用規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方に開示または提供し、かつ開示または提供の際に秘密で

ある旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報(文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない)をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することはできないものとします。但し、以下に該当する情報については秘密情報から除外します。

- (1)知得した時点で、既に一般に公知となっていたもの
- (2)知得した時点で、秘密情報を受領した当事者(以下「受領者」という)の責に帰せざる事由により公知となったもの
- (3)受領者が秘密情報によることなく単独で開発したもの
- (4)開示者から秘密保持の必要なく書面でも確認されたもの

2. クライアントおよびディップは、相手方より開示された秘密情報の管理につき、受領者が保有する他の情報、物品等と明確に区別して管理するとともに、以下の事項を遵守します。
 - (1)秘密情報の管理責任者および保管場所を定め、善良なる管理責任者の注意義務をもって保管管理するものとし、
 - (2)秘密情報を取り扱う従業員を必要最小限にとどめ、前号の保管場所以外へ持ち出してはならないものとし、
 - (3)秘密情報を取り扱う従業員に対して本利用規約の内容を周知徹底させ、当該従業員に対しても本利用規約においてディップが負う義務と同等の機密保持義務を負わせ、その他秘密情報の漏洩、紛失、破壊、改ざん等を未然に防止するために必要な措置を取るものとし、
 - (4)事前の承諾を得た場合を除き、秘密情報を複製または複製してはなりません。
 - (5)秘密情報を本契約の目的の範囲を超えて利用してはなりません。
 - (6)本契約が終了したとき、またはクライアントから秘密情報の返却もしくは廃棄を求められたときは、直ちに秘密情報(第4号に基づき複製、複製されたものを含む)をクライアントに返却、または廃棄し、その証拠とともに報告します。
3. 秘密保持契約の有効期間は、締結日から1年間とし、クライアントとディップいずれから1年間満了の1ヶ月前までに書面による解約の意思表示がない場合は、秘密保持契約は更に1年間延長されるものとし、以後の本サービス契約期間満了時においても同様とします。

第11条 (個人情報取扱扱い)

- 1.クライアントおよびディップは、本サービス提供に際し知り得た、相手方より開示され又は収集した一切の個人情報を秘密として保持し、いかなる第三者に対しても、提供・開示・漏洩又は使用してはならない。
- 2.クライアントおよびディップは、前項の個人情報を滅失・漏洩・改ざん等することがないように必要な措置を講じるものとします。
- 3.クライアントおよびディップは、個人情報を自己の責任において完全に保管し、本契約の終了等により当該個人情報が必要となった場合は、直ちに相手方に返却するが、相手方の指示に従い完全に破壊しなければならない。
4. 第9条に基づき本再委託先に業務を委託する場合は、ディップは、本再委託先と個人情報の保護に関する契約を締結して、本再委託先に秘密保持義務を厳守させると共に、その結果について連帯して責任を負うものとし、

第12条 (解除)

1. クライアントが以下のいずれかの項目に該当する場合ディップは何等の催告することなく、本利用規約を解除することができるものとします。
 - (1)本サービス提供の履行を怠り、書面による催告後15日以内にその不履行を是正しないとき
 - (2)支払停止若しくは支払不能となり、又は、仮差押、差押、競売、破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、若しくは特別清算開始の申し立てがあったとき
 - (3)手形、小切手が不渡りとなり手形交換所の取引停止処分を受けたとき
 - (4)公租公課の滞納処分を受けたとき
 - (5)法令違反等により逮捕、起訴され業務遂行に著しい影響が生じる可能性があるとき、または法令違反等により本サービス提供に關係する事業を遂行するために必要な資格等を喪失したとき
 - (6)天災等の不可抗力により本業務の遂行が不可能となったとき
2. 前項の理由により契約が解除された場合は、当該時点で発生しているディップに対する一切の債務の全額について期限の利益を喪失し、直ちに一括して弁済するものとし、

第13条 (保証)

- 1.クライアントおよびディップは、本サービス自体およびその提供その他本契約に定める行為が、第三者の著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、氏名権、肖像権その他一切の権利を侵害せず、かつ、不正競争防止法に違反しておらず、今後そのようなことのないことを保証し、確約する。
- 2.クライアントおよびディップは、暴力団をはじめとする反社会的勢力に該当せず、かつ反社会的勢力との間に資本関係または取引関係その他一切の關係を持っておらず、今後も持たないものであることを保証し、確約する。

第14条 (利用期間)

1. 本サービスの利用期間は、契約締結日から3ヶ月後の末日までとします。ただし、期間満了の1ヶ月前までに、クライアントまたはディップのいずれから書面による何らの意思表示がないときは、本基本契約は同一条件で更に3ヶ月間継続するものとし、以後も同様とします。また、クライアントの書面による意思表示により、契約を一時中断させることを可能とします。
2. 前項の規定により契約の終了を迎えた場合でも、本利用規約に基づき締結された個別契約が有効に存在するときには、本基本契約は当該個別契約の有効期間の満了をもって終了するものとする。
- 3.クライアントまたはディップは、契約期間中にサービス内容の見直しを定期的に行えるものとします。

第15条 (反社会的勢力に関する表明保証)

- 1.クライアントおよびディップは、自己または自己の取締役、監査役、従業員その他の構成員が、次の各号のいずれにも該当しないことを

表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。

- (1)暴力団員、暴力団員でなくなったときから5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下「暴力団員等」という。)
 - (2)暴力団員等と次の關係を有していないこと
 - ア.自らもしくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団員等を利用していると認められる關係
 - イ.暴力団員等に対して資金等を定容資、又は便宜を供与するなど暴力団員等の維持、運営に協力し、又は関与している關係
 - (3)自らの役員(取締役、執行役、執行役員、監査役、相談役、会長その他名称の如何を問わず、経営に実質的に関与している者という)が暴力団員等ではないこと、及び暴力団員等と社会的に避難されるべき關係を有していないこと
 - (4)暴力団員等に自己の名義を利用させ、本契約を締結するものでないこと
 - (5)自ら又は第三者を利用して本契約に関して次の行為をしないこと
 - ア.暴力的な要求行為
 - イ.法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ウ.取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - エ.風説を流布し、偽計又は威力を用いて相手方の業務を妨害し、又は信用を毀損する行為
 - オ.その他前各号に準ずる行為
- 2.クライアントまたはディップはどちらか的一方について、次のいずれかに該当した場合には、その相手方は、何らの催告を要せずして、本契約を解除することができる。
 - ア.前項(1)ないし(3)の確約に反する表明をしたことが判明した場合
 - イ.前項(4)の確約に反し契約をしたことが判明した場合
 - ウ.前項(5)の確約に反した行為をした場合
 - 3.前項の規定により本契約が解除された場合には、解除された者は、その相手方に対し、相手方の被った損害を賠償するものとする。
 - 4.第2項の規定により本契約が解除された場合には、解除された者は、解除により生じる損害について、その相手方に対し一切の請求を行わない。
 - 5.第2項による解除の場合には、第10条第11条所定の返却又は廃棄を行った後、甲乙間における一切の権利義務關係は存続しない。ただし、不当に秘密情報又は個人情報を開示、漏洩した場合等における不法行為責任に基づく損害賠償請求を妨げるものではない。

第16条 (利用規約の変更)

ディップは、本利用規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは1か月以上の予告期間を置いてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。クライアントが当該変更後に本サービスを利用した場合、変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第17条 (協議および管轄裁判所)

- 1.本サービスに関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。
- 2.クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第18条 (準拠法)

本利用規約および本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

2020年7月13日制定

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社（以下「ディップ」といいます。）が提供する「マークロボ」サービス（以下「本サービス」といいます。）その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。本利用規約記載の以下の条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第1条（本利用規約制定の目的）

本利用規約は、本サービスに関するディップとクライアントとの間の権利義務関係等を定めるものです。

第2条（定義）

本利用規約における用語の定義は以下の通りとします。

- （１）「本サービス」とは、ディップが提供する「マークロボ」という名称のサービス（理由の如何を問わずサービスの名称又は内容が変更された場合は、当該変更後のサービスを含む）をいいます。
- （２）「利用契約」とは、本利用規約に基づきディップとクライアントとの間に締結される本サービスの利用に関する契約をいいます。
- （３）「クライアント」とは、ディップとの間で利用契約を締結し、本サービスを利用する資格を持つ個人又は法人をいいます。
- （４）「登録情報」とは、利用登録の申請及び本サービスの利用にあたりクライアント又はクライアントがディップに提供したクライアントの属性に関する一切の情報をいいます。
- （５）「ＩＤ」とは、クライアントとその他の者を識別するために用いられる符号をいいます。
- （６）「パスワード」とは、仮パスワード、正式パスワード、その他ＩＤとの組み合わせにより、クライアントとその他の者を識別するために用いられる符号をいいます。
- （７）「料金表」とは、本サービスの利用料金（以下「利用料金」という）について、ディップが本利用規約と別に定める表その他の記載をいいます。
- （８）「利用情報」とは、クライアントが本サービス上に保存・登録した情報、及び本サービスを利用して得た情報をいい、登録情報を除きます。
- （９）「知的財産権等」とは、特許権、実用新案権、意匠権、回路配置利用権、商標権、著作権（著作権法第２７条及び第２８条に定める権利を含む）及びノウハウ（知的財産権を受ける権利を含む）をいいます。

第3条（本規約の適用範囲）

１.本利用規約は、ディップとクライアントとの間の本サービスの利用に関する一切の関係を適用されるものとします。なお、本サービスに関してディップが定める料金表その他本サービスの利用に関するルールも本規約の一部を構成し、一体として適用されるものとします。なお、当該ルールと本利用規約の内容とが異なる場合、当該ルールが優先して適用されるものとします。

２.本利用規約は、利用契約の成立日における本サービスに関するクライアントとディップとの間のすべての合意事項を規定するものであり、本利用規約に別途定めがある場合を除き、本サービスに関する合意事項、申入れ等が本利用規約の内容と相違する場合は、本利用規約の内容が優先するものとします。ただし、ディップとクライアントとの間で、本利用規約に優先するものとして別途書面による合意をした場合は、当該合意の内容が優先するものとします。

３.ディップ及びクライアントは、本規約に定める権利を有し義務を負うとともに、誠実に履行するものとします。

第4条（本利用規約の変更等）

- １.ディップはクライアントの承諾を得ることなく、本利用規約の変更を行うことがあります。
- ２.本利用規約の変更後、本利用規約の効力は、ディップが運営するウェブサイト又はクライアント管専用の管理ページ（以下「クライアント管理ページ」という）上で表示した時点（但し、ディップが変更の効力発生時を指定した場合は当該時点）より生じます。変更時にはディップからクライアントへメール・チャットワークその他の適切な方法により通知いたします。クライアントは、当該通知を受領後ディップの定める期間内に解約の手続きを取らなかった場合、又は本利用規約の変更後に本サービスを利用した場合、変更後の本利用規約のすべての記載を承諾したものとみなします。
- ３.本利用規約の変更は、下記のURLに掲載の内容を優先するものとします。
ht <https://mk8-robo.com/markerobokiyaku/>

第5条（ディップからの通知）

- １.ディップがクライアントに対して行う本サービスについての一切の通知は、原則として、ディップ所定のウェブサイト上又は登録情報上の電子メールアドレス宛の電子メールにて行い、これらの通知の効力は、ディップが当該通知を掲載又は送信した時点をもって発生するものとします。
- ２.ディップが前項に定める通知以外の通知方法を用いる場合、その通知の効力は、当該通知がクライアントに到達するために合理的に必要な期間が経過した時点で発生するものとします。
- ３.前二項に定める通知の効力は、クライアントが現実に通知を受領又は認識したかどうかを問わず、発生するものとします。

第6条（契約の内容）

- １.ディップは、クライアントに対し、利用契約の有効期間中、日本国内において、本利用規約に定める範囲内で本サービスを利用することができる非独占的・非排他的、譲渡不能、再許諾不可の権利を許諾します。
- ２.クライアントが本サービスにより利用できるサービスの類型、内容、仕様、利用期間、提供条件等の詳細は、ディップが定めるところによるものとします。

第7条（本サービスの利用登録）

- １.クライアントは、ディップの定める方法でディップ所定の情報をディップに提供することにより、本サービスの利用登録を申請することができ、ディップが当該申請を承認したことをもって、利用登録が完了し、クライアントとディップとの間で利用契約が成立するものとします。なお、クライアントが利用登録を申請した時点で、ディップはクライアントが本利用規約の内容に同意しているものとみなします。
- ２.クライアントは、利用登録の申請の際に、真実、完全、正確かつ

最新のディップが必要とする登録情報を提供するものとします。

３.クライアントは、本サービスの利用にあたって、ディップに対して次の事項を表明し保証します。ディップは、クライアントが以下の各号のいずれかの事由に該当し、又は該当するおそれがあると判断した場合、当該クライアントの利用登録及び本サービスの利用を拒否することができるとし、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。

- （１）クライアントが既に利用登録を完了している場合
 - （２）利用登録の申請の際に、ディップに提供された情報の全部又は一部につき、記載漏れ、誤記又は虚偽の情報、不十分な情報、不正確な情報、クライアント以外の情報若しくは最新のものでない情報がある場合
 - （３）本利用規約に違反する場合
 - （４）クライアントによる本サービスの利用が、法令等に違反し、又は第三者の権利を侵害する場合
 - （５）クライアントが、本サービスの利用にあたり、不法又は不正な目的又は意図をもっている場合
 - （６）過去に本サービスの利用登録を拒否又は抹消された者である等、過去に本利用規約違反に基づく措置が講じられていた者からの申請である場合
 - （７）本サービスの利用にかかる利用料金の支払いを怠る可能性が合理的に認められる場合
 - （８）本サービスの提供が技術的に困難である場合
 - （９）本サービスと競業し得る事業を行う者である場合
 - （１０）第三者の委託を受けて本サービスを利用する者である場合（但し、ディップが事前に承諾した場合は除く）
 - （１１）暴力団等（第33条で定義する）である又は資金提供その他のを通じて暴力団等の維持、運営若しくは経営に協力若しくは関与する等、暴力団等との何らかの交流若しくは関与を行っている場合
 - （１２）その他、本サービスの利用が相当でない場合
- ４.ディップは、利用登録完了後、クライアントが前項の各号のいずれかの事由に該当し、又は該当するおそれがあることが判明した場合、当該クライアントの利用登録を抹消（利用契約を解除すること）をいいます。以下同じです。とともに、以後、当該クライアントの本サービスの全部又は一部の利用を禁止することができます。
- ５.利用登録完了後、ディップは、クライアントに対して、ＩＤ及びパスワードを発行します。クライアントは、ＩＤ及びパスワードの発行後に初めて本サービスを利用することができます。

第8条（クライアントの登録内容変更）

- １.クライアントは、申込者名・代表者名・住所・電話番号・メールアドレス・URL等、その他登録情報に変更があったときには、ただちにその変更情報をディップ指定の方法により届け出るものとします。
- ２.ディップは、前項の届出があった時は、その届出のあった事実を証明する書類を提示させることができます。
- ３.第1項の届出をしなかったこと、又は登録情報に不備等があったことによりクライアントに何らかの不利益が生じた場合、ディップはいかなる責任を負いません。

第9条（利用料金）

- １.本サービスの利用料金は、ディップ所定のウェブサイト上の本サービスに関する料金表の記載に従い算定されるものとします。なお、かかる料金表と異なる料金が記載された利用登録の申込書又はディップとクライアントとの間の合意書面が存在する場合は、当該書面が優先するものとします。
- ２.クライアントは、利用料金を、ディップが別途定める方法により、ディップが別途定める支払期日までに支払うものとします。なお、クライアントは、ディップが定めた支払期日を経過しても支払いが行われない場合は、遅延損害金として、年14.6％の割合で計算した金額をディップが定める方法により支払うことに同意するものとします。
- ３.クライアントは、利用料金がディップにより改定される場合があることに予め同意するものとします。なお、利用料金の改定は、本規約の変更手続きに準じて行います。
- ４.クライアントがディップに支払った利用料金は、利用契約が解除された場合その他事由のいかなるを問わず返還しないものとします。

第10条（設備）

- １.クライアントは、本サービスの利用に供するコンピュータ、ソフトウェア、インターネット回線その他の一切の設備を、自己の費用と責任において準備、維持、管理するものとします。
- ２.ディップは、本サービスの利用に供するクライアントの設備の瑕疵、欠陥、欠損、機能不全その他の不備につき、一切責任を負いません。

第11条（セキュリティ）

- １.ディップは、本サービスの安全を確保するために、セキュリティ防護措置に努めます。但し、ディップは、ハッキング、サイバー攻撃その他本サービスの不正な利用を完全に防止することを保証するものではありません。
- ２.クライアントは、ネットワークやソフトウェアには、既知（公表されたソフトウェア等のセキュリティ上の脆弱性で脆弱性対策が未実装の場合等を指すが、これに限られない）及び未知のセキュリティ脆弱性が存在する可能性があることを承諾することとし、自己の判断において当該ソフトウェア等に対してライセンサーその他第三者より提供される修正、更新ソフトウェアの適用、その他必要な措置を講じることとします。

第12条（クライアントの協力義務）

- １.クライアントは、ディップによるシステム保守その他のサポート等が行われる場合において、ディップから要請があった場合には、本サービスを提供するに際して必要な情報の提供、クライアントの事務所への立ち入り、利用環境の説明その他の協力を行うものとします。
- ２.クライアントは、本サービスの利用に際して、ディップから要請があった場合には、ディップとの連絡窓口となる担当者を定め、ディップに通知するものとします。また、当該担当者が変更となった場合は、直ちに変更後の担当者情報をディップに通知するものとします。

第13条（事例の公開）

ディップは、クライアントに事前に同意を得た上でクライアントの会社名・ロゴ・商標を本サービス導入企業として、ディップウェブサイト、パンフレットその他の営業資料において公開することができ

るものとします。

第14条（本サービスの変更・廃止）

- １.ディップは、ディップの都合により、事前の通知なく、本サービスの内容や仕様を変更（サービスとしての同一性を維持しつつ、本サービスの内容や仕様の全部又は一部につき、改良その他異なる内容や仕様とすることをいう）し、又は本サービスの一部若しくは全部を廃止することができます。
- ２.本条に基づくディップの措置につき、クライアントは異議を申し立てることはできず、これによってクライアントに何らかの損害が生じたとしても、ディップは一切責任を負いません。

第15条（サービスの利用期間等）

- １.利用契約の有効期間は、利用契約の申込みにおいて定めた日から申し込みにおいて指定した期間の末日までとします。
- ２.利用契約の有効期間満了の1ヶ月前までにクライアントからのディップ指定の申請フォームその他ディップが指定する方法により申し出がない場合は、利用契約は同条件で自動的に6ヶ月間更新されるものとし、以降も同様とします。
- ３.クライアントは、利用契約成立後、やむを得ない理由により利用契約の有効期間の満了前に解約を希望する場合には、解約を希望する日の1ヶ月前までにディップに通知するものとします。但し、解約を希望するクライアントに未払債務が存在する場合、クライアントは、利用契約を解約できないものとします。なお、クライアントは、解約した利用料金、ディップに対し、利用契約の有効期間の残期間分に相当する利用料金を速やかに支払うものとし、また、支払済みの利用料金の返還請求はできないものとします。
- ４.ディップがやむを得ない理由があるとして判断し、前項の申し出を承認することによって、利用契約は通知により指定された日をもって終了するものとします。
- ５.ディップは、ディップにおいて本サービスの継続が困難な状況が生じた場合は、クライアントに通知することにより、何らの負担なく、利用契約を解除することができます。また、ディップは、2か月前に予告することにより、本サービスを停止するために利用契約を解除することができるものとします。

第16条（利用時間）

- １.本サービスは、一日24時間・一年365日の提供を原則としますが、ディップは次の場合本サービスの全部又は一部の提供を中断又は停止することができます。
 - （１）本サービス提供のための設備（コンピュータシステムを含む）の修繕・保守・点検・工事等が必要である場合
 - （２）本サービス提供のための設備に障害が発生した場合
 - （３）ディップが利用する通信回線・電力などの提供が中断した場合
 - （４）天災その他の非常事態が発生し、あるいはその恐れがあるために、法令・指導などにより、通信の制限等を受けた場合、又はディップがその必要を認めた場合
 - （５）法律、法令等に基づく措置により本サービスが提供できない場合
 - （６）第三者による加害行為等により、本サービスの履行に支障が生じる場合
 - （７）その他ディップがやむを得ないと判断した場合
- ２.前項に掲げる事態により、サービスを中断又は停止する場合は、その3日前までに通知するよう努めるものとします。ただし、天災や突発的な事故などの緊急の場合により、事前通知することなく本サービスを停止することがあります。
- ３.前各項に定める事由により、本サービスの全部又は一部の提供を中断又は停止した場合でも、ディップはそれによる損害賠償の一切の責を負わず、クライアントはディップに対する当該期間中の利用料金の支払義務を負うものとします。

第17条（OEMサービス）

クライアントは、本サービスには、ディップにサービスを提供する第三者により開発、提供及び維持されているメール送信サービスを含むことを確認し、下記URLに定められる「サービス利用・アカウント管理規約」及び「Twilio サービス利用規約」に同意のうえ、遵守するものとします。クライアントがこれらの規約に違反しないし抵触した場合、本利用規約に違反したものとみなします。
<https://sendgrid.kke.co.jp/terms/#s-24>

第18条（権利の譲渡・貸与の禁止）

- １.クライアントは、ディップが事前に承諾した場合を除き、利用契約上の地位並びに本サービスに対する如何なる権利又は義務についても第三者に譲渡、貸与、承継、担保設定その他の処分をすることはできないものとします。
- ２.ディップは、本サービスにかかる事業を第三者に譲渡した場合には、当該事業譲渡に伴い本利用規約上の地位、本利用規約に基づく権利及び義務ならびにクライアントの情報その他一切の情報を当該事業譲渡の受让人に譲渡することができるものとす。クライアントは、当該事業譲渡につき、予め同意するものとします。なお、当該事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第19条（再委託）

ディップは、本サービスの構築・運用・保守等の業務につき一部又は全部の作業をディップの責任において第三者に再委託できるものとします。

第20条（ＩＤ及びパスワードの管理責任）

- １.クライアントは、第三者に、自己のＩＤ及びパスワードを利用させ、又は貸与、譲渡、名義変更、売買等をしてはならないものとします。
- ２.クライアントは、ＩＤ及びパスワードを管理する責を負い、第三者の不正利用等に起因する全ての損害についてはクライアントが一切の責任を負い、ディップは一切の責任を負わないものとします。また、
- ３.クライアントＩＤあるいはパスワードを紛失、盗難又は第三者の不正利用を知った場合は、自らの責任で速やかにパスワードの変更の手続を行うとともに、直ちにディップにその旨を報告するものとします。
- ４.第三者がクライアントのＩＤ及びパスワードを用いて本サービスを利用した場合、当該行為はクライアントの行為とみなし、クライアントは当該利用により生じる利用料金の支払いその他の一切の債務

を負担するものとします。なお、この規定は、ディップから当該第三者への賠償請求等を妨げるものではありません。

5. クライアントのＩＤ及びパスワードの管理不十分又は第三者の利用によってクライアントに損害が出た場合、その負担はクライアントの故意・過失に関わらずクライアントが負うものとし、ディップは一切の責任を負わないものとし、クライアントに帰すべき事由によりディップに損害が生じた場合、クライアントはディップに対し賠償責任を負うものとし、

6. クライアントは、クライアントにつき１つのＩＤを使用するものとし、複数のクライアントで１つのＩＤを共有してはならないものとし、

7. 前項の違反が発覚した場合、クライアントは、本サービスの利用開始日から、支払い済みまでの期間に相当する、当該違反によって本サービスを使用した主体ごとの利用料金を支払うものとし、

なお、本項は、前各項に定める責任の追及を妨げるものではなく、ディップは、本項により支払われる額を超える損害が発生したときは、その超過額を請求することができるものとします。

第2 1条（禁止事項）

1. クライアントは以下の行為を行わず、かつ、クライアントその他の第三者をして行わせないものとします。

（１）本利用規約若しくは法令等に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為

（２）ディップ又は第三者の著作物を、当該著作者の許可なくして使用することその他の著作権、商標権、プライバシー権、肖像権、名誉権その他第三者の権利を侵害する行為

（３）ディップ又は個人や団体を中傷・誹謗する行為

（４）虚偽の情報等を流布することその他の方法により第三者に不利益をもたらすこと。

（５）法律で定められた情報の無記載又は虚偽の送信者情報を記載してメール配信を行うこと。

（６）同意を得ていないメールアドレスへのメール配信を行うこと

（７）本サービス又はこれに関連するソフトウェア、書類もしくはデータのソースコード、オブジェクトコード又はその下層にある構造、アイデアもしくはアルゴリズム等を、リバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブル、その他の方法により解明しようとする。

（８）本サービスに対し、セキュリティ、脆弱性、負荷もしくは侵入テストを行い、又は既知の脆弱性を意図的に悪用する行為を行うこと。

（９）本サービスを変更、翻訳し、もしくはこれを基に派生物を作成し、又は本サービスからディップその他の第三者の権利に関する表示もしくはラベルを除去すること。

（１０）本サービスと競合する製品もしくはサービスを構築すること

（１１）本サービスと競業し得る事業を行う者が登録を行う行為

（１２）ディップ所定の仕様を満たさない利用環境から本サービスを利用しようとする行為

（１３）本サービス又はディップに損害を与えるようなプログラムの改変、利用をする行為

（１４）ディップが提供するサーバーに過大な負荷を与える行為等により、他のクライアント若しくは第三者に迷惑・不利益を与え又は本サービスに支障をきたす行為

（１５）有害なコンピュータープログラムの送信等、ディップによる本サービスの提供又は他のクライアントによる本サービスの利用に支障を生じさせる行為

（１６）政治的又は宗教的な勧誘、宣伝その他不適切な行為

（１７）ディップが不適切と判断する情報を第三者に送信する行為

（１８）公序良俗に反する行為

（１９）迷惑メールの送信のために本サービスを利用すること。

（２０）ディップ又はディップが認定するパートナー以外の者との間で、本サービスの運用代行契約（契約名に関わらず、マクロロボの導入・運用のサポートにかかる契約をいう）を締結すること。

（２１）ディップによる本サービスの提供を阻害する態様で、本サービスを利用すること。

（２２）前各号に掲げるほか、ディップが禁止する行為をおこなうこと。

（２３）前各号に定める行為を援助又は誘発する行為

（２４）その他ディップが不適切と判断する行為

2. ディップは、クライアントに第1 項各号に該当する行為があったことが判明した場合又は該当する行為があったとディップが判断した場合には、クライアントに通知することなくクライアントの利用登録を抹消し、本サービスの利用を拒否すること、その他必要な措置を講じることができず。

第2 2条（免責事項）

1. ディップは、クライアントによる本サービスの利用の結果、効用、効果等を、一切保証するものではありません。

2. ディップは、本サービスへの利用登録、本サービスの利用、本サービスの変更・中断・停止・利用拒否・廃止、利用登録の抹消又は本サービスの利用による機器の故障・損傷その他本サービスに関してクライアントが被った損害について一切の責任を負わないものとし、

3. クライアントは、表示外観上の差異（機種による差異、ブラウザによる差異、クライアント管理ページのレイアウト・デザイン変更、変換技術の仕様変更による差異等）表示上の重大な差異（変換技術の仕様による表示不能）機能不全が確認されたといえども、本サービスの利用に（重大な）支障のない場合は、ディップに一切異議を申し立てないものとします。

4. ディップはクライアントの活動に関連する義務を負わず、本サービスの利用に関連して、クライアントと第三者との間で生じた紛争等については、クライアントは自己の費用と責任において解決するものとし、ディップは一切の責を負わないものとします。ディップが第三者に対してかかる損害を補てんすることとなした場合、ディップは、クライアントに対し、当該補てん金額の全額及び弁護士費用を求償することができます。

5. ディップは、コンピューターウィルス、天災、事故、戦争、暴動、内乱、法令の改廃制定、公権力による命令処分その他のディップの責によらない事由により損害がクライアントに生じた場合、一切の責任を負わないものとし、

6. クライアントは、パートナーとの間で本サービスの運用代行契約を締結した場合において、パートナーによるマクロロボの運用代行業務に起因して生じたクライアントの損害については、ディップは一切責任を負わないものとし、

尚、クライアントは、ディップ又

はパートナー以外の者との間で、マクロロボの導入・保守・サポートにかかる契約を締結することはできません。

7. ディップは、ディップが本利用規約に従って行った措置、又はクライアントによる本利用規約違反行為によるクライアントの損害について、一切の責任を負わないものとし、

第2 3条（知的財産権の取り扱い）

1. 本サービス及びこれに関連し提供されるソフトウェア等に係る知的財産権その他の権利は、ディップ又はディップにライセンスを許諾している者に独占的に帰属するものとします。

2. 本サービスの利用過程でクライアントから提供された資料、データその他の利用情報に係る知的財産権その他の権利は、クライアントに帰属するものとします。ただし、本利用契約期間中及び利用契約終了後、ディップは、利用情報その他本サービスの利用状況に関する情報を本サービスの提供・改善や新サービスの開発のために利用し又は第三者に提供できるものとし、クライアントは、当該利用又は提供を予め許諾するものとします。

3. 利用契約は、本サービスに関するディップ又はディップにライセンスを許諾している者の知的財産権の全ての利用を許諾することを意味するものではありません。

第2 4条（守秘義務）

1. クライアントは、ディップより提供を受けた技術上、営業上その他業務上の情報（以下「機密情報」という）を機密に取り扱うものとし、事前のディップによる書面の承諾なしに、第三者に対して開示、提供もしくは漏洩してはならないものとし、

なお、以下の各号に該当する情報は機密情報に該当しないものとし、

（１）開示を受けた際、既に自ら所有し又は第三者から入手していた情報

（２）開示を受けた際、既に公知又は公用であった情報

（３）開示を受けた後、ディップ又はクライアントいずれの責にもよらず公知又は公用となった情報

（４）守秘義務を負うことなく第三者より正当に受領した情報

（５）機密情報を使用することなく独自に開発した情報

2. 第2 項の定めにかかわらず、クライアントは、法律、裁判所又は政府機関の命令、要求又は要請に基づき、機密情報を開示することができます。但し、当該命令、要求又は要請があった場合、速やかにその旨をディップに通知しなければなりません。

3. クライアントは、機密情報を記載した文書又は記録媒体等を複製する場合には、事前にディップの書面による承諾を得ることとし、複製物についても機密情報として厳重に取り扱うものとし、

4. クライアントは、ディップから求められた場合又は利用契約が終了した場合には、速滞なく、ディップの指示に従い、機密情報並びに機密情報を記載した文書又は記録媒体等の全ての複製物を返却又は廃棄しなければなりません。

第2 5条（個人情報の取り扱い）

1. クライアントは、別途定める「プライバシーポリシー」に同意のうえ、ディップが求める個人情報（「個人情報の保護に関する法律」第2 条第1 項によって定義された「個人情報」と同じものをいい、以下同様です）をディップに提供しないければなりません。なお、ディップは、ディップが取得したクライアントの個人情報を「プライバシーポリシー」に従って適正に管理します。

2. クライアントは、クライアントが本サービスにより取得する個人情報、個人情報の保護に関する法律その他の関係法令等にしたがって、適正に取得及び管理しなければなりません。なお、ディップは、クライアントが本条に違反することによってクライアント又は第三者に生じたいかなる損害についても一切責任を負わないものとし、

第2 6条（利用情報の取扱い）

1. クライアントは、利用情報について、自らの費用と責任で保存、管理、バックアップ、あるいは削除をするものとします。

2. ディップは、クライアントの利用情報の保存、管理、バックアップ、あるいは削除について一定の義務を負担するものではなく、利用情報の保存等について一切責任を負いません。

3. 利用契約終了後は、クライアントは本サービスにアクセス、閲覧等することができなくなります。クライアントは、利用契約が終了するときには、あらかじめ利用情報をダウンロードするなど、必要と考えた利用を自己の費用と責任により実施しなければなりません。

4. 利用契約終了後は、ディップは、任意の時点で、本サービスに用いるサーバーに保存・管理されている登録情報、利用情報その他の各種設定情報など、一切の情報を削除することができるものとします。

5. ディップは、本サービスの運用・保守・サポートその他の理由でアクセスが必要と判断した場合を除き、本サービスの利用情報にはアクセスしません。

6. 前項の定めに関わらず、ディップは、クライアントの利用情報その他本サービスの利用状況等を匿名加工処理を施した上で、クライアントの同意を取得することなく、また、クライアントに費用を支払う必要なく自ら利用し、第三者に提供し又は公開することができます。

第2 7条（利用登録の抹消）

ディップは、クライアントが次の各号のいずれかひとつにても該当した場合は、何らの通知・催告をすることなく、利用登録を抹消（利用契約の解除）することができるものとし、

（１）本利用規約のいずれかの条項に違反したとき

（２）本利用規約以外のディップとの契約につき、クライアントの責に帰すべき事由によりディップから解約ないし解除されたとき

（３）支払停止若しくは支払不能となり、又は破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算手続開始若しくはこれらに類する手続の開始の申立てがあったとき

（４）自ら振出し、若しくは引受けた手形又は小切手につき、不渡りの処分を受けたとき

（５）差押、仮差押、仮処分、強制執行又は競売の申立てがあったとき

（６）租税公課の滞納処分を受けたとき。

（７）その他、ディップがクライアントとして本サービスの利用の継続を適当でないと判断したとき

第2 8条（問題の解決）

本規約に定めのない事項について紛議が生じた場合、クライアントとディップは誠意をもって問題の解決に当たることとします。

第2 9条（専属的裁判管轄）

利用契約に関する係争は、訴額に応じ東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第3 0条（損害賠償）

1. ディップは、本サービスの提供にあたり、ディップの故意又は重過失によりクライアントに損害を与えたとき、クライアントに対してその現実が発生した直接かつ通常の損害を賠償するものとし、

但し、ディップが責を負う賠償額は、当該損害の発生した契約に關してクライアントから受領した利用料金の3 ヶ月分をその上限とします。

2. クライアントが本利用規約等に違反し、又は本サービスの利用に関連して、ディップに損害を与えた場合には、本利用規約等の定めにより本サービス提供の一時停止、利用契約の解除等をしたか否かにかかわらず、当該クライアントは、ディップに対しその損害（弁護士費用を含む）を直ちに賠償する責を負うものとし、

3. 法人又はその他の団体（以下「法人等」という）が、当該法人等に所属する個人をクライアントとして本サービスに利用申し込みし利用契約が締結された場合、その利用態様如何を問わず、当該法人等の利用であるとなし、その場合において、当該個人が本利用規約等に定める事項に違反したことによりディップが損害を被った場合には、その時点で当該個人が法人等に所属しているか否かに関わらず、当該法人等が当該損害を賠償する責を負うものとします。

第3 1条（反社会的勢力の排除）

1. クライアントとディップは、双方に対して利用契約成立日において、自ら、自らの役員（取締役、監査役及び執行役員等の業務執行について重要な地位にあるもの）及び自らの従業員、並びに出資者（併せて以下「役職員等」）が、以下の各号に定めるもの（以下「暴力団等」）に該当しないことを表明し、保証するものとし、かつ将来に亘っても該当しないことを確約します。

（１）暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成三年五月十五日法律第七十七号。その後の改定を含む。)第2 条において定義されるもの)

（２）暴力団の構成員（準構成員を含みます。以下同様）もしくは暴力団の構成員でなくなった日から5 年を経過しない者

（３）暴力団完成企業又は本項各号に定める者が出資者又は業務執行について重要な地位にある団体もしくはこれらの団体の構成員

（４）総会発、社会運動標榜ゴロ、政治活動標榜ゴロ、特殊知能暴力集団又はこれらの団体の構成員

（５）暴力団又は暴力団の構成員と密接な関係を有する者

（６）前各号に準じる者

2. クライアントとディップは、双方に対して利用契約成立日において、以下の各号のいずれにも該当しないことを表明し、保証するものとし、かつ将来に亘っても該当しないことを確約します。

（１）暴力団が経営を支配していると認められる関係を有すること

（２）暴力団等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること

（３）自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害等を加える目的をもつてするなど、暴力団等を利用していると認められる関係を有すること

（４）自己又は役職員等が暴力団等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること

（５）自己又は役職員等が暴力団等と社会的に非難されるべき関係を有すること

（６）前各号に準じる関係を有すること

3. クライアントとディップは、自ら、又は第三者を通じて以下の各号の何れかに該当する行為及び該当する虞のある行為を行わないことを誓約するものとし、

（１）暴力的な行為

（２）法的な責を超えた不当な要求行為

（３）取引に関して、脅迫的な言動を行い、又は暴力を用いる行為

（４）風説の流布、偽計もしくは威力を用いて、ディップ及び代理店の信用を毀損し、又はこれらの者の運営にかかる業務を妨害する行為

（５）暴力団等が役職員等となり、又は前項各号に該当する行為

（６）前各号に準じる行為

4. ディップは、本条第1 項及び第2 項に定める表明及び保証事項が虚偽や不正確となる事由が判明もしくは発生し、又は発生すると合理的に見込まれる場合には、通知・催告その他の手続きを要することなく、当該クライアントにかかる利用申し込みを承諾せず、また利用契約成立後は利用契約を解除することができるものとし、

5. 前項の不承諾・解除がなされた場合であっても、ディップのクライアント又はクライアントに対する損害賠償請求は何ら妨げられないものとし、

6. 第4 項の不承諾・解除がなされた場合であっても、これらによってクライアント又はクライアントに損害、損失、費用等が発生した場合でも、ディップは何ら責を負わないものとし、

第3 2条（準拠法）

利用契約の効力、履行、解釈に関する準拠法は日本法とします。

2020 年7 月13 日制定

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社（以下「ディップ」といいます。）が提供する業務効率化支援サービス（以下「本サービス」といいます。）その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。なお、本利用規約記載の以下の条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第1条（目的）

本利用規約は、ディップが提供する本サービスを通じて企業における業務の分析・可視化、RPAやその他業務効率化ツールを用いた業務の自動化、その後の運用までを総合的に支援することを目的とします。

第2条（用語の定義）

1. 「本サービス」とは、ディップが提供する以下の業務効率化支援サービスのことをいい、企業における業務の分析・可視化、RPAやその他業務効率化ツールを用いた業務の自動化、その後の運用までを総合的に支援するサービスとなります。
- ・コボット 定例業務の自動化に特化したロボット
2. 「クライアント」とは、本利用規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承認した法人、個人およびその他の団体をいいます。

第3条（申込み・契約の成立）

1. クライアントは、本利用規約に同意した上で、ディップが指定する手続きに従って申し込みます。なお、サービスにより別途書面が必要な場合、ディップが指定する書面も提出するものとします。
2. ディップは、クライアントによる申込みその他必要書類を受け取った後、当該申込内容を確認し、承認します。
3. 前項によりディップが当該申込を承認した場合に、ディップとクライアントの間に契約が成立します。
4. ディップは、本サービスの利用開始にIDおよびパスワードが必要となる場合には、クライアントに対しIDおよびパスワードを発行し、貸与します。

第4条（IDおよびパスワードの管理）

1. クライアントは自己のIDおよびパスワードの管理・使用は、ディップの責に帰する事由による場合を除き、全てクライアントが責任を負うものとします。
2. クライアントはIDおよびパスワードを第三者に譲渡、売買、貸与等の行為はできないものとします。
3. クライアントはIDおよびパスワードを失念した場合、または盗難されたおそれのある場合には速やかにディップにその旨を連絡する義務を負います。
4. IDまたはパスワードの第三者の使用により当該クライアントが損害を被った場合、ディップの責に帰する事由による場合を除き、ディップは一切責任を負いません。

第5条（利用期間）

1. 本サービスの利用期間は、申込内容記載の本サービス利用開始日から1年間とします。ただし、導入サポートキャンペーン期間における本サービスのお申込み（以下「キャンペーン申込み」といいます）に限り、本サービスの利用期間は、本サービス利用開始日が属する月の翌々月末日までとします。ただし、本サービスのうちタイムカードコボットの利用期間は、申込内容記載の本サービス利用開始日から半年間とします。
2. 前項にかかわらず、本サービスのうちディップがあらかじめ指定したサービスについては、申込に記載された期間によって当該サービスの提供を受けるものとします。
3. 第1項の利用期間は、利用期間満了月の前月末日までに、ディップ所定の退会届のご提出がない場合、自動的に1年間更新されるものとし、以降同様に自動更新するものとします。ただし、キャンペーン申込みによる本サービスの利用およびタイムカードコボットについては、自動更新の適用はありません。

第6条（利用料金）

1. クライアントは本サービスの利用にあたって、ディップの定める料金（以下「利用料金」といいます。）を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。本サービスのうちタイムカードコボットの利用料金形態は、次のとおりとなります。
- （1）申込月：初期費用
- （2）申込後サービス開始日の属する月以降：サービス開始日から1ヶ月間サービス開始日から1ヶ月間ごと申込に記載されたディップ指定の利用枚数（以下「ディップ指定月額利用枚数」といいます。）までを月額固定料金とし、当該ディップ指定月額利用枚数を超えた場合は、当該ディップ指定月額利用枚数超のご利用枚数に1枚あたりの単価を乗じた金額が自動的に加算されます。
- （3）その他：オプションとして クライアントが利用する基幹システムへの転記サービスを申込み場合、申込後サービス開始日の属する月の翌月1日から申込に記載された期間において月額固定料金。 納品フォーマットカスタムを申込み場合、クライアントごとの個別見積金額
2. クライアントは本サービスの利用にあたり不適合が生じたとしてもディップに対し利用料金の減額、返金の申し入れすることはできないものとします。ただし、当該不適合がクライアントの指示に基づかず、またディップが本利用規約に規定する各免責条項に該当しない場合に当該不適合が生じた場合には、双方協議により利用料金の一部を減額する場合があります。
3. クライアントが支払期日までに利用料金を支払わなかった場合、ディップはクライアントに対し、支払期日の翌日から支払済みまで、支払期日までに支払わなかった利用料金およびその利用料金に係る年14.6パーセントの割合の遅延損害金を請求することができます。ただし、100円未満の端数が生じた場合はこれを切り捨てます。

第7条（クライアントの責務）

1. クライアントはディップの求めに応じて、本サービスの適切な運営、提供に必要な範囲においてクライアント自らの属性等、クライアントに関する情報をディップに提供しなければならないものとし
- ます。
2. クライアントはディップへの届出内容に変更があった場合には、速やかにディップに連絡する義務を負います。届出がなかったこと

でクライアントが不利益を被ったとしても、ディップは一切その責任を負いません。

3. クライアントは、自らコボットに登録した情報、その内容について正しいことを保証するものとします。
 4. クライアントは、本サービスを利用するにあたり、利用端末およびそのスペック、OSおよびそのバージョン、ブラウザおよびそのバージョン、インターネット接続環境およびその帯域、その他本サービスを利用する上で必要な環境を自ら用意し、自ら管理する必要があります。
 5. クライアントは、クライアントによる本利用規約の履行が第三者のいかなる権利も侵害しないということを保証します。
 6. クライアントは、自己の責任で必要なデータのバックアップを確保するものとし、コボット上に格納したクライアントのデータの喪失・破壊について、ディップは、一切の責任を負わないものとします。
 7. コボットの機能・技術などに関する特許、コボットに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利は、ディップに帰属します。
 8. クライアントは、本サービスの利用により、コボットの機能・技術などに関する特許、コボットに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利も、明示・黙示を問わず、その実施を許諾されていません。
 9. クライアントはコボットの技術の権利性を争わないものとし、コボットのシステム改変等は一切行わないものとします。
- 第8条（本サービスの利用時間）
- クライアントは、第9条第1項、第10条、第24条第1項および第2項の場合を除き、本サービスを24時間365日ご利用いただくことができます。

第9条（メンテナンスによる本サービスの一時中止）

1. ディップは、本サービスの運営を良好に保つため、クライアントへの事前の通知なく、定期または臨時メンテナンス等により、本サービスの提供を一時中止することがあり、クライアントは予めそれを承諾します。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップは、自らの責に帰すべき事由による場合を除きクライアントに対して何らの責任も負わず、クライアントは、予めそれを承諾します。

第10条（本サービスの変更、中断）

- ディップは次のいずれかに該当すると判断した場合は、クライアントへの事前の通知をすることなく、本サービスの提供を変更、中断することができるものとします。
- （1）天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、本サービスの提供ができなくなった場合
 - （2）緊急保守等本サービスにおけるシステムの運営上やむを得ない事由が生じた場合
 - （3）その他運用上、技術上ディップが必要と判断した場合

第11条（本サービスの終了）

1. ディップは、30日間の予告期間をもってクライアントに通知のうえ、本サービスの提供を終了することができます。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップはクライアントに対して何らの責任も負いません。

第12条（保証）

ディップは、クライアントに対し、本サービスの提供に關し、明示または黙示の無にかかわらず、特定の目的への適合性、有用性（有益性）セキュリティについて一切保証しておりません。

第13条（禁止事項）

- クライアントは、本サービスの利用にあたり以下の行為を行ってはならないものとします。
- （1）本サービスの目的外の利用行為
 - （2）ディップが定める本サービスの利用・運用ルールに反する行為
 - （3）本サービスの運営の妨げとなる一切の行為
 - （4）本利用規約第7条第8項および第9項に該当する行為
 - （5）公序良俗に反する行為もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - （6）法令に反する行為や犯罪的行為、もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - （7）事実反する、またはそのおそれのある情報を提供する行為
 - （8）その他、ディップが不適切と判断する一切の行為

第14条（利用停止）

ディップは、クライアントが本利用規約に違反したと判断した場合、何らの催告をせず、当該クライアントによる本サービスの利用を停止することができます。

第15条（情報の削除）

1. ディップは、第13条に規定された行為とみなされる情報が登録される等、登録情報を削除する必要がある場合、クライアントに通知することなく、当該情報を削除することができます。
2. ディップは、契約期間中および契約が終了した場合でも、コボットのシステムに蓄積されたプログラム、データおよび統計情報等コボットの利用に関する全てのデータはクライアントにお渡ししません。また、契約が終了し5年間経過後、当該プログラム、データ、および統計情報等コボットの利用に関する全てのデータを削除します。

第16条（商号等の使用）

1. クライアントはディップに対し、本件目的を遂行する際にクライアントの名称、商標またはロゴ等を使用することを認めます。
2. クライアントはディップに対し、ディップが運営するWEBサイト上で本サービスのご利用企業として第三者にクライアントの名称、商標またはロゴを使用および開示することを認めます。

第17条（再委託）

1. クライアントは、ディップが受託した業務を第三者に再委託する場合がありますことについて承諾するものとします。
2. 前項の場合、ディップは再委託先に対し本利用規約を遵守させるとともに、当該再委託先の行為に關し再委託先と連帯してまたは単独で責任を負うものとします。ただし、ディップに帰責事由がない場合は除きます。

第18条（機密保持）

1. 本利用規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方に開示または提供し、かつ開示または提供の際に秘

である旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報（文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない）をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することとはできないものとします。

2. 前項の相手方の営業上、技術上の情報であっても、次の各号のいずれかに該当するものは前項に基づく取扱いを要しないものとします。

- （1）公知の情報または相手方から開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報
 - （2）相手方から開示を受けた時点で、既に自己が保有していた情報
 - （3）相手方の技術上、営業上の情報に關係なく自己が独自に開発した情報
 - （4）第三者から秘密保持義務を負うことなく、適法に入手した情報
3. ディップは、本サービスのサービス向上、改善および開発のために本サービスの提供に基づき取得した機密情報等を活用することがあり、クライアントは予めそれを承諾します。
4. クライアントおよびディップは、本利用規約が期間満了、解約その他の事由により終了したときまたは相手方から要求があったときは、相手方から交付された秘密情報を含む資料、フロッピーディスク等の媒体（写を作成した場合は写を含みます。）を相手方の選択により廃棄または返却するものとします。
5. 前4項の規定は契約終了後も有効に存続します。

第19条（個人情報の取扱い）

1. クライアントは、本サービスの利用に伴い、個人情報の管理をディップに委託することおよび第三者に再委託することについて、本人から同意を得る必要があります。
2. ディップは、前項の委託を受け、本サービスを通じて取得する個人情報（生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別できると認めることとなるものを含みます。）をいいい、クライアントがコボットに格納した情報を含みます。以下同様とします。）を、本利用規約に記載する【個人情報の取扱いについて】に従い適切に取り扱うものとします。
3. ディップは、前項の提供を受け、コボットを通じて取得する個人情報、本サービスの提供の範囲内でのみ利用します。
4. クライアントおよびディップは、個人情報の適正な安全管理を講じるものとし、社内に個人情報保護責任者を任命し、個人情報保護体制を整備し、社員に対する安全対策を実施する義務があります。
5. クライアントおよびディップは、本サービスの利用に伴い個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩が発生した場合、共にし誠実に対応するものとします。また、速やかに対応するため、クライアントは、ディップがクライアントの事前承諾を得ることなく本人に直接連絡することについて、予め承諾するものとします。
6. ディップは、本サービスの利用または再委託先の管理下で発生した個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩について、ディップに明らかな帰責事由がある場合に限り、責任を負うものとします。

第20条（反社会的勢力に関する表明保証）

クライアントおよびディップは、相手方に対し、自己が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）ではないこと、反社会的勢力の支配・関与・影響を受けていないこと、および、クライアントおよびディップが知る限り各々の自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを保証します。

第21条（解除）

1. クライアントが以下のいずれかの項目に該当する場合ディップは何等の催告することなく、本利用規約を解除することができるものとします。
 - （1）監督官庁による営業の取消もしくは停止等の処分その他関連法規に基づく行政上の処分を受けたとき
 - （2）破産、会社更生手続開始、特別清算開始、民事再生手続開始の申立てまたはその他財務状況の悪化またはそのおそれがあると認められる相当な事由があったとき
 - （3）その資産の一部または全部に対して差押え、仮差押え、仮処分または競売の申立てを受けたとき
 - （4）公租公課を滞納したとき
 - （5）利用料金等その他の支払を怠っている場合または過去に支払いを怠ったことがある場合
 - （6）自己振出した手形または小切手が不渡り処分となり支払停止事由が発生したとき
 - （7）名譽、信用を失墜させたとき、またはそのおそれがあるとき
 - （8）第20条その他本利用規約に違反したとき
 - （9）その他合理的な根拠によりディップがクライアントによるサービスの利用継続を不適当と判断した場合
2. 前項の理由により契約が解除された場合は、当該時点で発生しているディップに対する一切の債務の全額について期限の利益を喪失し、直ちに一括して弁済するものとします。
3. ディップは、第1項により本利用規約を解除した場合、相手方に損害が生じても何ら責任を負わないものとします。

第22条（解約）

クライアントは、ディップに対して、解約希望日の30日前までにディップ所定の書面に事前通知することにより、本サービスを解約することができます。ただし、その場合、違約金として利用期間満了までの利用料金をお支払いいただきます。

第23条（本利用規約終了時の措置）

1. 本利用規約が終了した場合、ディップは、クライアントに付与していたID等を無効にします。
2. クライアントは、自己の責任で必要なデータのバックアップを確保するものとし、ディップは、前項によるクライアントのデータを削除したことによるデータ消失の責任は負わないものとします。
3. クライアントがコボットの利用に伴い取得したコボットに関するマニュアルおよびそれらの複製物については、本利用契約の終了後、直ちにディップに返却するか、ディップの承認の下に破壊するものとします。

第 24 条（免責）

1. 停電・通信回線の事故、天災等の不可抗力、通常講ずるべきウイルス対策では防止できないウイルス被害、通信事業者の不履行、インターネットインフラその他サーバー等のシステム上の不具合、緊急メンテナンスの発生などディップの責に帰すべき事由以外の原因により本利用規約に基づく債務の全部または一部を履行できなかった場合、ディップはその責を問われないものとし、当該履行については、当該原因の影響とみなされる範囲まで義務を免除されるものとします。

2. 本サービスの提供中にリンク先のサイトに不具合が発生した場合や、クライアントが利用するサイトまたはパッケージソフトの不具合で本サービスが提供できない場合およびクライアントによる本利用規約第 13 条（2）に該当する行為により本サービスが提供できない場合は、ディップは債務不履行の責を負わず、当該期間中の料金も発生するものとします。

3. ディップは、前二項の障害を知り得た場合は、クライアントへ事前に通知した上で、当該障害の調査および復旧対応にあたります。ただし、緊急にてやむを得ない場合は、クライアントへの通知が対応後となる場合があり、クライアントは予めそれを承諾します。また、ディップは、当該復旧対応について、当該障害の解決を保証するものではなく、また解決時間についても何ら保証するものではありません。

4. 本サービスの提供、一時中止、変更、中断もしくは終了、本サービスを通じて登録、提供される情報の流失もしくは消失等、またはその他本サービスに関連してクライアントに損害が発生した場合、ディップに明らかな帰責事由がない限り、ディップは責任を負わないものとします。

第 25 条（損害賠償）

1. ディップが、第 24 条の免責事由に該当せず、故意または重過失により、クライアントに対し損害を与えた場合は、クライアントが本サービスを無料で利用している場合を除き、当該損害発生事由にかかる申込内容のうち既にディップに支払われた金額を上限とし、その損害の賠償の義務を負うものとします。

2. 前項の規定にかかわらず、本サービスを無料で利用しているクライアントに対しては、ディップがクライアントに損害を与えた場合であっても、ディップは一切その責任を負いません。

3. クライアントは、本利用規約に違反することによって、第三者との間でトラブルが発生した場合、クライアント自身で解決するものとし、ディップに損害を与えることのないものとします。

第 26 条（利用規約の変更）

ディップは、本利用規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは 1 カ月以上の予告期間においてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。クライアントが当該変更後にコボットを利用した場合、変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第 27 条（協議および管轄裁判所）

1. コボットに関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。

2. クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 28 条（準拠法）

本利用規約および本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

【個人情報の取扱いについて】

ディップ株式会社は、本サービスにおいて取得する個人情報を以下のとおり取扱います。

a) 個人情報を取得する事業者
ディップ株式会社

b) 個人情報保護管理者の職名、所属および連絡先
ディップ株式会社 経営管理本部 総務統括部長
<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

c) 個人情報の利用目的
取得した個人情報は、以下の目的で利用いたします。
(1) 本サービスの提供

d) 第三者への提供
第三者への提供はいたしません。

e) 個人情報の取扱いの委託
個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。この際は、個人情報の取扱いに関する契約を締結し、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

f) 本人からの開示要求など
本人から(1)利用目的の通知、(2)開示、(3)訂正、追加または削除、(4)利用の停止、消去または第三者への提供の停止などの要求がある場合、以下のお問合せ先からお問合せください。
<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

g) 任意性
本申込内容への入力内容はすべて必須項目となっております。必須項目をご入力いただかなかった場合、ディップからのサービスを提供できません。

h) 容易に認識できない個人情報の取得方法
本サービスを利用いただく際に Cookie 情報を取得します。

i) 統計データ
ディップ株式会社は、個人を特定できないように加工した利用状況や統計データを作成し、当該情報について何ら制約なく利用することができるものとします。なお、この場合の著作権はディップ株式会社に帰属します。

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社（以下「ディップ」といいます。）が提供する HR コボット for アラートサービス（以下「本サービス」といいます。）その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。なお、本利用規約記載の以下の条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第 1 条（目的）

本利用規約は、ディップが提供する本サービスを通じて企業における派遣スタッフの管理業務等の効率化を支援することを目的とします。

第 2 条（用語の定義）

1. 「本サービス」とは、ディップがクライアントに代わり派遣スタッフの管理等を行うために、クライアントが予め設定したメールアドレスにアラートメールを自動的に送付するサービスおよびそれに関連するサービスの総称をいいます。
2. 「クライアント」とは、本利用規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承認した法人、個人およびその他の団体をいいます。

第 3 条（申込み・契約の成立）

1. クライアントは、本利用規約に同意した上で、ディップが指定する手続きに従って申し込みます。なお、サービスにより別途書面が必要な場合、ディップが指定する書面も提出するものとします。
2. ディップがクライアントによる申し込みに対し、確認および審査の上、申込みを承諾することにより、ディップおよびクライアントとの間で本サービスの利用契約が成立します。
3. ディップは、本サービスの利用開始に I D およびパスワードが必要となる場合には、クライアントに対し I D を発行します。その後、クライアントは、自らパスワードを設定するものとします。

第 4 条（I D およびパスワードの管理）

1. クライアントは自己の I D およびパスワードの管理・使用は、ディップの責に帰する事由による場合を除き、全てクライアントが責任を負うものとします。
2. クライアントは I D およびパスワードを第三者に譲渡、売買、貸与等の行為はできないものとします。
3. クライアントは I D およびパスワードを失念した場合、または盗難されたおそれのある場合には速やかにディップにその旨を連絡する義務を負います。
4. I D またはパスワードの第三者の使用により当該クライアントが損害を被った場合、ディップの責に帰する事由による場合を除き、ディップは一切責任を負いません。

第 5 条（利用期間）

1. 本サービスの利用期間は、申込内容記載の本サービス利用開始日から 6 か月とします。
2. 前項にかかわらず、本サービスのうちディップがあらかじめ指定したサービスについては、申込に記載された期間によって当該サービスの提供を受けるものとします。

第 6 条（利用料金）

1. クライアントは本サービスの利用にあたって、ディップの定める料金（以下「利用料金」といいます。）を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。
2. クライアントは本サービスの利用にあたり不適合が生じたとしてもディップに対し利用料金の減額、返金の申し入れすることはできないものとします。ただし、当該不適合がクライアントの指示に基づかず、またディップが本利用規約に規定する各免責条項に該当しない場合に当該不適合が生じた場合には、双方協議により利用料金の一部を減額する場合があります。
3. クライアントが支払期日までに利用料金を支払わなかった場合、ディップはクライアントに対し、支払期日の翌日から支払済みまで、支払期日までに支払わなかった利用料金およびその利用料金に係る年 14.6 パーセントの割合の遅延損害金を請求することができます。ただし、100 円未満の端数が生じた場合はこれを切り捨てます。

第 7 条（クライアントの責務）

1. クライアントはディップの求めに応じて、本サービスの適切な運営、提供に必要な範囲においてクライアント自らの属性等、クライアントに関する情報（アラートを送付するメールアドレスを含む）をディップに提供しなければならないものとします。
2. クライアントはディップへの届出内容に変更があった場合には、速やかにディップに連絡する義務を負います。届出がなかったことでクライアントが不利益を被ったとしても、ディップは一切その責任を負いません。
3. クライアントは、自らに登録した情報、その内容について一切の責任を負うものとします。
4. 前項の登録情報は、本サービスの提供するサービス内容の範囲内で、クライアント自らがいつでも変更、追加、削除できるものとし、常にクライアントが責任をもって利用目的に沿い、正確、完全、最新に保つものとします
5. クライアントは、クライアントによる本利用規約の履行が第三者のいかなる権利も侵害しないということを保証します。
6. 本サービスの機能・技術などに関する特許、本サービスに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利は、ディップに帰属します。
7. クライアントは、本サービスの利用により、本サービスの機能・技術などに関する特許、本サービスに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利も、明示・黙示を問わず、その実施を許諾されていません。
8. クライアントは本サービスの技術の権利性を争わないものとし、本サービスのシステム改変等は一切行わないものとします。

第 8 条（メンテナンスによる本サービスの一時中止）

1. ディップは、本サービスの運営を良好に保つため、クライアントへの事前の通知なく、定期または臨時メンテナンス等により、本サービスの提供を一時中止することがあり、クライアントは予めそれを承諾します。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップは、自らの責に帰すべき事由による場合を除きクライアントに対して何らの責任も負わず、クライアントは、予めそれを承諾します。

第 9 条（本サービスの変更、中断）

ディップは次のいずれかに該当すると判断した場合は、クライアントへの事前の通知をすることなく、本サービスの提供を変更、中断することができるものとします。
（1）天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、本サービスの提供ができなくなった場合
（2）緊急保守等本サービスにおけるシステムの運営上やむを得ない事由が生じた場合
（3）その他運用上、技術上ディップが必要と判断した場合

第 10 条（本サービスの終了）

1. ディップは、3 0 日間の予告期間をもってクライアントに通知のうえ、本サービスの提供を終了することができます。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップはクライアントに対して何らの責任も負いません。

第 11 条（保証）

1. ディップは、クライアントに対し、本サービスの提供に関し、明示または黙示の有無にかかわらず、特定の目的への適合性、有用性（有益性）、セキュリティについて一切保証しておりません。
2. ディップは、本サービスが全ての端末に対応していることを保証するものではなく、また、仮に本サービスの利用開始時に対応していた場合でも、本サービスの利用に供する端末の OS のバージョンアップ等に伴い本サービスの動作に不具合が生じる可能性があることにつき、クライアントはあらかじめ了承するものとします。
3. ディップは、前項にかかる不具合が生じた場合にディップが行うプログラムの修正等により当該不具合が解消されることを保証するものではありません。

第 12 条（禁止事項）

クライアントは、本サービスの利用にあたり以下の行為を行ってはならないものとします。
（1）本サービスの目的外的利用行為
（2）ディップが定める本サービスの利用・運用ルールに反する行為
（3）本サービスの運営の妨げとなる一切の行為
（4）本利用規約第 7 条第 7 項および 8 項に該当する行為
（5）公序良俗に反する行為もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
（6）法令に反する行為や犯罪的行為、もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
（7）事実に対する、またはそのおそれのある情報を提供する行為
（8）その他、ディップが不適切と判断する一切の行為

第 13 条（利用停止）

ディップは、クライアントが本利用規約に違反したと判断した場合、何らの催告をせず、当該クライアントによる本サービスの利用を停止することができます。

第 14 条（情報の削除）

1. ディップは、第 12 条に規定された行為とみなされる情報が登録される等、登録情報を削除する必要がある場合、クライアントに通知することなく、当該情報を削除することができます。
2. ディップは、契約期間中および契約が終了した場合でも、本サービスのシステムに蓄積されたプログラム、データおよび統計情報等本サービスの利用に関する全てのデータはクライアントにお渡ししません。また、契約が終了し 5 年間経過後、当該プログラム、データ、および統計情報等本サービスの利用に関する全てのデータを削除します。

第 15 条（商号等の使用）

1. クライアントはディップに対し、本件目的を遂行する際にクライアントの名称、商標またはロゴ等を使用することを認めます。
2. クライアントはディップに対し、ディップが運営する WEB サイト上で本サービスのご利用企業として第三者にクライアントの名称、商標またはロゴを使用および開示することを認めます。

第 16 条（再委託）

1. クライアントは、ディップが受託した業務を第三者に再委託する場合がありますことについて承諾するものとします。
2. 前項の場合、ディップは再委託先に対し本利用規約を遵守させるとともに、当該再委託先の行為に関し再委託先と連帯してまたは単独で責任を負うものとします。ただし、ディップに帰責事由がない場合は除きます。

第 17 条（機密保持）

1. 本利用規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方に開示または提供し、かつ開示または提供の際に秘密である旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報（文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない）をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することはできないものとします。
2. 前項の相手方の営業上、技術上の情報であっても、次の各号のいずれかに該当するものは前項に基づく取扱いを要しないものとし、ます。
（1）公知の情報または相手方から開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報
（2）相手方から開示を受けた時点で、既に自己が保有していた情報
（3）相手方の技術上、営業上の情報に関係なく自己が独自に開発した情報
（4）第三者から秘密保持義務を負うことなく、適法に入手した情報
3. クライアントおよびディップは、本利用規約が期間満了、解約その他の事由により終了したときは相手方から要求があったときは、相手方から交付された秘密情報を含む資料、フロッピーディスク等の媒体（写を作成した場合は写を含みます。）を相手方の選択により廃棄または返却するものとします。
4. 前 3 項の規定は契約終了後も有効に存続します。

第 18 条（個人情報の取扱い）

1. クライアントは、本サービスの利用に伴い、個人情報の管理をディップに委託することおよび第三者に再委託することについて、本人から同意を得る必要があります。
2. ディップは、前項の委託を受け、本サービスを通じて取得する個

人情報（生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます。）をいい、クライアントが本サービスのシステムに登録した情報を含みます。以下同様とします。）を、本利用規約に記載する【個人情報の取扱いについて】に従い適切に取り扱うものとし、ます。
3. ディップは、前項の提供を受け、本サービスを通じて取得する個人情報や、本サービスの提供の範囲内でのみ利用します。
4. クライアントおよびディップは、個人情報の適正な安全管理を講じるものとし、社内に個人情報保護責任者を任命し、個人情報保護体制を整備し、社員に対する安全対策を実施する義務があります。
5. クライアントおよびディップは、本サービスの利用に伴い個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩が発生した場合、共同して誠実に対応するものとします。また、速やかに対応するために、クライアントは、ディップがクライアントの事前承諾を得ることなく本人に直接連絡することについて、予め承諾するものとします。
6. ディップは、本サービスの利用または再委託先の管理下で発生した個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩について、ディップに明らかな帰責事由がある場合に限り、責任を負うものとし、ます。

第 19 条（反社会的勢力に関する表明保証）

クライアントおよびディップは、相手方に対し、自己が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）ではないこと、反社会的勢力の支配・関与・影響を受けていないこと、および、クライアントおよびディップが知る限り各々の自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明し、かつ、将来にわたって今後も該当しないことを保証します。

第 20 条（解除）

1. クライアントが以下のいずれかに項目に該当する場合ディップは何等の催告することなく、本利用規約を解除することができるものとします。
（1）監督官庁による営業の取消もしくは停止等の処分その他関連法規に基づく行政上の処分を受けたとき
（2）破産、会社更生手続開始、特別清算開始、民事再生手続開始の申立てまたはその他財務状況の悪化またはそのおそれがあると認められる相当な事由があったとき
（3）その資産の一部または全部に対して差押え、仮差押え、仮処分または競売の申立てを受けたとき
（4）公租公課を滞納したとき
（5）利用料金等その他の支払を怠っている場合または過去に支払いを怠ったことがある場合
（6）自己振出の手形または小切手が不渡り処分となり支払停止事由が発生したとき
（7）名譽、信用を失墜させたとき、またはそのおそれがあるとき
（8）第 19 条その他本利用規約に違反したとき
（9）その他合理的な根拠によりディップがクライアントによるサービスの利用継続を不適当と判断した場合
2. 前項の理由により契約が解除された場合は、当該時点で発生しているディップに対する一切の債務の全額について期限の利益を喪失し、直ちに一括して弁済するものとします。
3. ディップは、第 1 項により本利用規約を解除した場合、相手方に損害が生じてても何ら責任を負わないものとします。

第 21 条（本利用規約終了時の措置）

1. 本利用契約が終了した場合、ディップは、クライアントに付与していた I D 等を無効にします。
2. クライアントは、自己の責任で必要なデータのバックアップを確保するものとし、ディップは、前項によるクライアントのデータを削除したことによるデータ消失の責任は負わないものとします。
3. クライアントが本サービスの利用に伴い取得した本サービスに關するマニュアルおよびそれらの複製物については、本利用契約を終了後、直ちにディップに返却するか、ディップの承認の下に放棄するものとします。（免責）

第 22 条（免責）

1. 停電・通信回線の事故、天災等の不可抗力、通常講ずるべきウイルス対策では防止できないウイルス被害、通信事業者の不履行、インターネットインフラその他サーバー等のシステム上の不具合、緊急メンテナンスの発生などディップの責に帰すべき事由以外の原因により本利用規約に基づく債務の全部または一部を履行できなかった場合、ディップはその責を問われないものとし、当該履行については、当該原因の影響とみなされる範囲まで義務を免除されるものとし、ます。
2. 本サービスの提供中にリンク先のサイトに不具合が発生した場合や、クライアントが利用するサイトまたはパッケージソフトの不具合で本サービスが提供できない場合およびクライアントによる本利用規約第 12 条（2）に該当する行為により本サービスが提供できない場合は、ディップは債務不履行の責を負わず、当該期間中の料金も発生するものとします。
3. ディップは、前二項の障害を知り得た場合は、クライアントへ事前に通知した上で、当該障害の調査および復旧対応にあたり、ます。ただし、緊急にてやむを得ない場合は、クライアントへの通知が対応後となる場合があり、クライアントは予めそれを承諾します。また、ディップは、当該復旧対応について、当該障害の解決を保証するものではなく、また解決時間についてもしも保証するものではありません。
4. 本サービスの提供、一時中止、変更、中断もしくは終了、本サービスをを通じて登録、提供される情報の流失もしくは消失等、またはその他本サービスに関連してクライアントに損害が発生した場合、ディップに明らかな帰責事由がない限り、ディップは責任を負わないものとし、ます。
5. 本サービス開始にあたり、ディップはクライアントに事前に説明し許可を得た対象の機器に対し、ソフトウェアのインストールおよび設定等を行います。その過程または結果によってクライアントに損害が発生した場合でも、ディップは自らの責に帰すべき事由による場合を除きクライアントに対して何らの責任も負わず、クライアントは、予めそれを承諾します。

第 23 条（損害賠償）

1. ディップが、第 22 条の免責事由に該当せず、故意または重大過失により、クライアントに対し損害を与えた場合は、クライアントが本

サービスを無料で利用している場合を除き、当該損害発生事由にかかる申込内容のうち既にディップに支払われた金額を上限とし、その損害の賠償の義務を負うものとします。

2. 前項の規定にかかわらず、本サービスを無料で利用しているクライアントに対しては、ディップがクライアントに損害を与えた場合であっても、ディップは一切その責任を負いません。

3. クライアントは、本利用規約に違反することによって、第三者との間でトラブルが発生した場合、クライアント自身で解決するものとし、ディップに損害を与えることのないものとします。

第 24 条（利用規約の変更）

ディップは、本利用規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは 1 カ月以上の予告期間においてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。クライアントが当該変更後に本サービスを利用した場合、変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第 25 条（協議および管轄裁判所）

1. 本サービスに関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。

2. クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 26 条（準拠法）

本利用規約および本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

- 【個人情報の取扱いについて】
- ディップ株式会社は、本サービスにおいて取得する個人情報を以下のとおり取扱います。
- a) 個人情報を取得する事業者
- ディップ株式会社
- b) 個人情報保護管理者の職名、所属および連絡先
- ディップ株式会社 経営管理本部 総務統括部長
- <https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>
- c) 個人情報の利用目的
- 取得した個人情報は、以下の目的で利用いたします。
- (1) 本サービスの提供
- d) 第三者への提供
- 第三者への提供はいたしません。
- e) 個人情報の取扱いの委託
- 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。この際は、個人情報の取扱いに関する契約を締結し、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
- f) 本人からの開示要求など
- 本人から(1)利用目的の通知、(2)開示、(3)訂正、追加または削除、(4)利用の停止、消去または第三者への提供の停止などの要求がある場合、以下のお問合せ先からお問合せください。
- <https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>
- g) 任意性
- 本申込内容への入力内容はすべて必須項目となっております。必須項目をご入力いただかなかった場合、ディップからのサービスを提供できません。
- h) 容易に認識できない個人情報の取得方法
- 本サービスを利用いただく際に Cookie 情報を取得します。
- i) 統計データ
- ディップ株式会社は、個人を特定できないように加工した利用状況や統計データを作成し、当該情報について何ら制約なく利用することができるものとします。なお、この場合の著作権はディップ株式会社に帰属します。

クライアントは、本利用規約が適用されることを前提としてディップ株式会社（以下「ディップ」といいます。）が提供する HR コボット for マッチングサービス（以下「本サービス」といいます。）その他これに付随する一切のサービスを利用するものとします。なお、本利用規約記載の以下の条項に同意いただけない場合は、クライアントは本サービスを利用することはできません。

第 1 条（目的）

本利用規約は、ディップが提供する本サービスを通じて企業における採用活動の効率化を支援することを目的とします。

第 2 条（用語の定義）

1. 「本サービス」とは、ディップがクライアントに代わり、ユーザーとクライアント掲載の求人案件を自動的にマッチングし、ユーザーにスカウトメールを送るサービス、採用活動代行サービスおよびそれに関連するサービスの総称をいいます。
2. 「クライアント」とは、本利用規約を承諾の上、ディップが指定する手続きに従って申込みを行い、かつディップが本サービスの利用を承認した法人、個人およびその他の団体をいいます。

第 3 条（申込み・契約の成立）

1. クライアントは、本利用規約に同意した上で、ディップが指定する手続きに従って申し込みます。なお、サービスにより別途書面が必要な場合、ディップが指定する書面も提出するものとします。
2. ディップがクライアントによる申し込みに対し、確認および審査の上、申込みを承諾することにより、ディップおよびクライアントとの間で本サービスの利用契約が成立します。
3. ディップは、本サービスの利用開始に ID およびパスワードが必要となる場合には、クライアントに対し ID を発行します。その後、クライアントは、自らパスワードを設定するものとします。

第 4 条（ID およびパスワードの管理）

1. ID は、本サービスの運用サイト（以下、「本サイト」という）にアクセスするために必要であり、ID 登録された個人のみがアクセスおよび使用を許されます。また、ひとつの ID を 2 人以上の個人が共有したり、使用することは許されておりません。ID の新規ユーザーへの譲渡は、前ユーザーがその活動を完全に中止し、本サイトにアクセス不可能となった場合に限り、認められます。
2. クライアントは自己の ID およびパスワードの管理・使用は、ディップの責に帰する事由による場合を除き、全てクライアントが責任を負うものとします。
3. クライアントは ID およびパスワードを第三者に譲渡、売買、貸与等の行為はできないものとします。
4. クライアントは ID およびパスワードを失念した場合、または盗難されたおそれのある場合には速やかにディップにその旨を連絡する義務を負います。
5. ID またはパスワードの第三者の使用により当該クライアントが損害を被った場合、ディップの責に帰する事由による場合を除き、ディップは一切責任を負いません。

第 5 条（スカウトメール）

1. クライアントは、自らが利用するインターネット上の求人職関連サービスの応募通知メールに、ディップが指定するメールアドレス（以下「登録アドレス」といいます。）を自らの責任において登録する必要があります。
2. 登録アドレスが正しく登録されていない場合は、本サービスをご利用いただくことはできません。
3. 登録アドレスの誤設定による応募者の個人情報の漏洩について、ディップは何ら責任を負いません。

第 6 条（申込および利用期間）

1. 本サービスの利用期間は、申込内容記載のとおりとします。
2. クライアントは、本サービス利用開始後、やむを得ない理由により利用契約の有効期間の満了前に解約を希望する場合には、解約を希望する日の 1 ヶ月前までにディップに通知するものとします。但し、クライアントに未払債務が存在する場合、クライアントは、利用契約を解約できないものとします。
3. クライアントは、前項の理由により解約した場合、ディップに対し、本サービスの有効期間の残期間分に相当する利用料金を速やかに支払うものと、支払済みの利用料金の返還請求はできないものとします。

第 7 条（利用料金）

1. クライアントは本サービスの利用にあたって、ディップの定める料金（以下「利用料金」といいます。）を申込内容に従ってディップ指定の銀行口座に振込にて支払うものとします。
2. クライアントは本サービスの利用にあたり不適合が生じたとしてもディップに対し利用料金の減額、返金の申し入れすることはできないものとします。ただし、当該不適合がクライアントの指示に基づかず、またディップが本利用規約に規定する各免責条項に該当しない場合に当該不適合が生じた場合には、双方協議により利用料金の一部を減額する場合があります。
3. クライアントが支払期日までに利用料金を支払わなかった場合、ディップはクライアントに対し、支払期日の翌日から支払済みまで、支払期日までに支払わなかった利用料金およびその利用料金に係る年 14.6 パーセントの割合の遅延損害金を請求することができます。ただし、100 円未満の端数が生じた場合はこれを切り捨てます。
4. 支払期日から 3 0 日を経過しても利用料金の支払が完済されない場合は、本サービスおよび本サイトの利用を一時停止とします。クライアントは未払いの利用料金を全て支払う事により利用再開できます。
5. クライアントは、前項の利用停止によりクライアントまたは第三者に発生する全ての損害（データ、売上、利益、その他の経済的便宜を得られなかったことを含む。また弁護士費用など利用停止に関連して生じた費用も含む）について、ディップは一切責任を負わないことに合意します。

第 8 条（クライアントの責務）

1. クライアントはディップの求めに応じて、本サービスの適切な運営、提供に必要な範囲においてクライアント自らの属性等、クライアントに関する情報をディップに提供しなければならないものとしま

す。

2. クライアントはディップへの届出内容に変更があった場合には、速やかにディップに連絡する義務を負います。届出がなかったことでクライアントが不利益を被ったとしても、ディップは一切その責任を負いません。
3. クライアントは、自らに登録した情報、その内容について一切の責任を負うものとします。
4. 前項の登録情報は、本サービスの提供するサービス内容の範囲内で、クライアント自らがいつでも変更、追加、削除できるものとし、常にクライアントが責任をもって利用目的に沿い、正確、完全、最新に保つものとします
5. クライアントは、クライアントによる本利用規約の履行が第三者のいかなる権利も侵害しないということを保証します。
6. 本サイト内でのすべての活動や、セッションの最後に ID および本サイトからログオフすることについては、クライアントに全責任があります。
7. クライアントは、パスワードおよび ID の無断使用、もしくはセキュリティ違反を発見した場合またはその疑いがある場合には、直ちにディップに連絡しなければなりません。また、本サービスおよび本サイトのコピーや頒布行為を発見した場合はその疑いがある場合、直ちにそれらの行為を中止させるよう最善を尽くさなければなりません。ディップは、クライアントの通信もしくはデータへの無断アクセスもしくは改変、送信もしくは受信される情報、データ、本サイトを介してなされた取引、または本規約の違反に基づく結果について、責任を負いません。
8. 本サービスの機能・技術などに関する特許、本サービスに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利は、ディップに帰属します。
9. クライアントは、本サービスの利用により、本サービスの機能・技術などに関する特許、本サービスに関する商標、著作権、営業秘密、ノウハウ、その他のいかなる知的財産権に基づく権利も、明示・黙示を問わず、その実施を許諾されています。
10. クライアントは本サービスの技術の権利性を争わないものとし、本サービスのシステム改変等は一切行わないものとします。

第 9 条（メンテナンスによる本サービスの一時中止）

1. ディップは、本サービスの運営を良好に保つため、クライアントへの事前の通知なく、定期または臨時メンテナンス等により、本サービスの提供を一時中止することがあり、クライアントは予めそれを承諾します。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップは、自らの責に帰すべき事由による場合を除きクライアントに対して、何らの責任も負わず、クライアントは、予めそれを承諾します。

第 10 条（本サービスの変更、中断）

- ディップは次のいずれかに該当すると判断した場合は、クライアントへの事前の通知をすることなく、本サービスの提供を変更、中断することができるものとします。
- (1) 天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、本サービスの提供ができなくなった場合
 - (2) 緊急保守等本サービスにおけるシステムの運営上やむを得ない事由が生じた場合
 - (3) その他運用上、技術上ディップが必要と判断した場合

第 11 条（本サービスの終了）

1. ディップは、3 0 日間の予告期間をもってクライアントに通知のうえ、本サービスの提供を終了することができます。
2. 前項により、クライアントに損害が発生した場合でも、ディップはクライアントに対して何らの責任も負いません。

第 12 条（保証）

1. ディップは、クライアントに対し、本サービスの提供に関し、明示または黙示の有無にかかわらず、特定の目的への適合性、有用性（有益性）セキュリティについて一切保証しておりません。
2. ディップは、本サービスが全ての端末に対応していることを保証するものではなく、また、仮に本サービスの利用開始時に対応していた場合でも、本サービスの利用に供する端末の OS のバージョンアップ等に伴い本サービスの動作に不具合が生じる可能性があることにつき、クライアントはあらかじめ了承するものとします。
3. ディップは、前項にかかる不具合が生じた場合にディップが行うプログラムの修正等により当該不具合が解消されることを保証するものではありません。

第 13 条（禁止事項）

- クライアントは、本サービスの利用にあたり以下の行為を行ってはならないものとします。
- (1) 本サービスの目的外的利用行為
 - (2) ディップの許可なくインターネット上で本サイトへ「リンク」をはくこと、他のサーバその他の機器上で本サービスおよび本サイトを「フレーム」すること。
 - (3) ディップが定める本サービスの利用・運用ルールに反する行為
 - (4) 本サービスの運営の妨けとなる一切の行為
 - (5) 本利用規約第 7 条第 7 項および 8 項に該当する行為
 - (6) 公序良俗に反する行為もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - (7) 法令に反する行為や犯罪的行為、もしくはそのおそれのある行為、あるいはそれを助長する行為
 - (8) 事実反する、またはそのおそれのある情報を提供する行為
 - (9) その他、ディップが不適切と判断する一切の行為

第 14 条（利用停止）

ディップは、クライアントが本利用規約に違反したと判断した場合、何らの催告をせず、当該クライアントによる本サービスの利用を停止することができます。

第 15 条（情報の削除）

1. ディップは、第 13 条に規定された行為とみなされる情報が登録される等、登録情報を削除する必要がある場合、クライアントに通知することなく、当該情報を削除することができます。
2. ディップは、契約期間中および契約が終了した場合でも、本サービスのシステムに蓄積されたプログラム、データおよび統計情報等本サービスの利用に関する全てのデータはクライアントにお渡ししません。また、契約が終了し 5 年間経過後、当該プログラム、データ、および統計情報等本サービスの利用に関する全てのデータを削除します。

第 16 条（商号等の使用）

1. クライアントはディップに対し、本件目的を遂行する際にクライアントの名称、商標またはロゴ等を使用することを認めます。
2. クライアントはディップに対し、ディップが運営する WEB サイト上で本サービスのご利用企業として第三者にクライアントの名称、商標またはロゴを使用および開示することを認めます。

第 17 条（再委託）

1. クライアントは、ディップが受託した業務を第三者に再委託する場合があることについて承諾するものとします。
2. 前項の場合、ディップは再委託先に対し本利用規約を遵守させるとともに、当該再委託先の行為に関し再委託先と連帯してまたは単独で責任を負うものとします。ただし、ディップに帰責事由がない場合は除きます。

第 18 条（機密保持）

1. 本利用規約における「機密情報」とは、クライアントまたはディップが相手方から開示または提供し、かつ開示または提供の際に機密である旨を明示した経営上、技術上、営業上または顧客に関する情報、本利用規約の存在および内容その他一切の情報（文書、図面、電子メール、電磁的記録媒体、口頭等の開示方法は問わない）をいいます。クライアントおよびディップは、機密情報を当該情報の権利者の同意がある場合または法令等による手続きによる場合を除き、第三者に開示、提供、漏洩することはできないものとします。
2. 前項の相手方の営業上、技術上の情報であっても、次の各号のいずれかに該当するものは前項に基づく取扱いを要しないものとします。
 - (1) 公知の情報または相手方から開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報
 - (2) 相手方から開示を受けた時点で、既に自己が保有していた情報
 - (3) 相手方の技術上、営業上の情報に関係なく自己が独自に開発した情報
 - (4) 第三者から機密保持義務を負うことなく、適法に入手した情報
3. クライアントおよびディップは、本利用規約が期間満了、解約その他の事由により終了したときまたは相手方から要求があったときは、相手方から交付された機密情報を含む資料、フロッピーディスク等の媒体（写を作成した場合は写を含みます。）を相手方の選択により廃棄または返却するものとします。
4. 前 3 項の規定は契約終了後も有効に存続します。

第 19 条（個人情報の取扱い）

1. クライアントは、本サービスの利用に伴い、個人情報の管理をディップに委託することおよび第三者に再委託することについて、本人から同意を受ける必要があります。
2. ディップは、前項の委託を受け、本サービスを通じて取得する個人情報(生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含みます。))をいい、クライアントが本サービスのシステムに登録した情報を含みます。以下同様とします。))を、本利用規約に記載する【個人情報の取扱いについて】に従い適切に取り扱うものとします。
3. ディップは、前項の提供を受け、本サービスを通じて取得する個人情報を、本サービスの提供の範囲内においてのみ利用します。
4. クライアントおよびディップは、個人情報の適正な安全管理を講じるものとし、社内に個人情報保護責任者を任命し、個人情報保護体制を整備し、社員に対する安全対策を実施する義務があります。
5. クライアントおよびディップは、本サービスの利用に伴い個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩が発生した場合、共同して誠実に対応するものとします。また、速やかに対応するために、クライアントは、ディップがクライアントの事前承諾を得ることなく本人に直接連絡することについて、予め承諾するものとします。
6. ディップは、本サービスの利用または再委託先の管理下で発生した個人情報の不正アクセス・喪失・改ざんおよび漏洩について、ディップに明らかな帰責事由がある場合に限り、責任を負うものとします。

第 20 条（財産権）

本規約で明示的に許諾された場合を除いて、本サービスおよび本サイト、あらゆるコンテンツに関する権利、権原または利益は、クライアントに付与されるものではありません。

第 21 条（反社会的勢力に関する表明保証）

クライアントおよびディップは、相手方に対し、自己が暴力団、暴力団関係企業・団体その他反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）ではないこと、反社会的勢力の支配・関与・影響を受けていないこと、および、クライアントおよびディップが知る限り各々の自己の役員、従業員、関係者等が反社会的勢力の構成員またはその関係者ではないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを保証します。

第 22 条（解除）

1. クライアントが以下のいずれかの項目に該当する場合ディップは何等の催告することなく、本利用規約を解除することができるものとします。
 - (1) 監督官庁による営業の取消もしくは停止等の処分その他関連法規に基づく行政上の処分を受けたとき
 - (2) 破産、会社更生手続開始、特別清算開始、民事再生手続開始の申立てまたはその他財務状況の悪化またはそのおそれがあると認められる相当な事由があったとき
 - (3) その資産の一部または全部に対して差押え、仮差押え、仮処分または競売の申立てを受けたとき
 - (4) 公租公課を滞納したとき
 - (5) 利用料金等その他の支払を怠っている場合または過去に支払いを怠ったことがある場合
 - (6) 自己振出の手形または小切手が不渡り処分となり支払停止事由が発生したとき
 - (7) 名誉、信用を失墜させたとき、またはそのおそれがあるとき
 - (8) 第 21 条その他本利用規約に違反したとき
 - (9) その他合理的な根拠によりディップがクライアントによるサービスの利用継続を不適当と判断した場合
2. 前項の理由により契約が解除された場合は、当該時点で発生しているディップに対する一切の債務の消滅について期限の利益を喪失し、直ちに一括して弁済するものとします。

3.ディップは、第1項により本利用規約を解除した場合、相手方に損害が生じても何ら責任を負わないものとします。

第23条（本利用規約終了時の措置）

1.本利用契約が終了した場合、ディップは、クライアントに付与していたID等を無効にします。
2.クライアントは、自己の責任で必要なデータのバックアップを確保するものとし、ディップは、前項によるクライアントのデータを削除したことによるデータ消失の責任を負わないものとします。
3.クライアントが本サービスの利用に伴い取得した本サービスに関するマニュアルおよびそれらの複製物については、本利用規約の終了後、直ちにディップに返却するか、ディップの承認の下に破棄するものとします。

第24条（免責）

1.停電・通信回線の事故、天災等の不可抗力、通常講ずるべきウイルス対策では防止できないウイルス被害、通信事業者の不履行、インターネットインフラその他サーバー等のシステム上の不具合、緊急メンテナンスの発生などディップの責に帰すべき事由以外の原因により本利用規約に基づく債務の全部または一部を履行できなかった場合、ディップはその責を問われないものとし、当該履行については、当該原因の影響とみなされる範囲まで義務を免除されるものとします。
2.本サービスの提供中にリンク先のサイトに不具合が発生した場合や、クライアントが利用するサイトまたはバックアップソフトの不具合で本サービスが提供できない場合およびクライアントによる本利用規約第13条（2）に該当する行為により本サービスが提供できない場合は、ディップは債務不履行の責を負わず、当該期間中の料金も発生するものとします。
3.ディップは、前二項の障害を知り得た場合は、クライアントへ事前に通知した上で、当該障害の調査および復旧対応にあたります。ただし、緊急にてやむを得ない場合は、クライアントへの通知が対応後となる場合があり、クライアントは予めそれを承諾します。また、ディップは、当該復旧対応について、当該障害の解決を保证するものではなく、また解決時間についても何ら保証するものではありません。
4.本サービスの提供、一時中止、変更、中断もしくは終了、本サービスを通じて登録、提供される情報の流失もしくは消失等、またはその他本サービスに関連してクライアントに損害が発生した場合、ディップに明らかな帰責事由がない限り、ディップは責任を負わないものとします。

第25条（損害賠償）

1.ディップが、第24条の免責事由に該当せず、故意または重過失により、クライアントに対し損害を与えた場合は、当該損害発生事由にかかる申込内容のうち既にディップに支払われた金額を上限とし、その損害の賠償の義務を負うものとします。
2.クライアントが本規約に違反したときは、ディップは、クライアントに対し違約金として利用料金の合計6ヶ月相当額を限度として、ディップが指定する金額の支払を請求できるものとします。
3.クライアントは、クライアントによる本サービスおよび本サイトの使用もしくはクライアントの本規約違反によって第三者との間で発生する請求、費用、損害、損失、義務、出費（弁護士費用を含む）について、クライアント自身で解決するものとし、ディップに損害を与えることのないものとします。

第26条（利用規約の変更）

ディップは、本利用規約を事前の予告なく変更、追加または削除することがあります。この場合において、ディップは1カ月以上の予告期間においてディップのコーポレートサイト上で変更後の利用規約を掲示するものとします。クライアントが当該変更後に本サービスを利用した場合、変更後の利用規約に同意したものとみなします。

第27条（協議および管轄裁判所）

1.本サービスに関連してクライアントとディップとの間で問題が生じた場合には、互いに誠意をもって協議するものとします。
2.クライアントとディップの間で協議によっても解決しない場合、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第28条（準拠法）

本利用規約および本サービスに関しては、日本法を適用いたします。

【個人情報の取扱いについて】

ディップ株式会社は、本サービスにおいて取得する個人情報を以下のとおり取扱いします。

a)個人情報取得する事業者
ディップ株式会社

b)個人情報保護管理者の職名、所属および連絡先
ディップ株式会社 経営管理本部 総務統括部長
<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

c)個人情報の利用目的
取得した個人情報は、以下の目的で利用いたします。
(1)本サービスの提供

d)第三者への提供
第三者への提供はいたしません。

e)個人情報の取扱いの委託
個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。この際は、個人情報の取扱いに関する契約を締結し、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

f)本人からの開示要求など
本人から(1)利用目的の通知、(2)開示、(3)訂正、追加または削除、(4)利用の停止、消去または第三者への提供の停止などの要求がある場合、以下のお問合せ先からお問合せください。
<https://www.dip-net.co.jp/contact/privacy>

g)任意性
本申込内容への入力内容はすべて必須項目となっております。必須項目をご入力いただかなかった場合、ディップからのサービスを提供できません。

h)容易に認識できない個人情報の取得方法
本サービスを利用いただく際にCookie情報を取得します。

i)統計データ
ディップ株式会社は、個人を特定できないように加工した利用状況や統計データを作成し、当該情報について何ら制約なく利用することができるものとします。なお、この場合の著作権はディップ株式会社に帰属します。

2020年7月31日制定